

令和 2 年度第 7 回定例会

八王子市教育委員会議事録（公開）

日	時	令和 2 年 7 月 2 9 日（水）	午前 9 時 3 0 分
場	所	八王子教育センター	3 階 大会議室

第7回定例会議事日程

1 日 時 令和2年7月29日(水)午前9時30分

2 場 所 八王子市教育センター 3階 大会議室

3 協議事項

- ・令和3年度(2021年度)八王子市立中学校・義務教育学校(後期課程)使用教科用図書の採択について (指導課)

出席者

教 育 長	安 間 英 潮
教育長職務代理者	柴 田 彩千子
委 員	笠 原 麻 里
委 員	伊 東 哲
委 員	川 島 弘 嗣

教育委員会事務局出席者

学 校 教 育 部 長	設 樂 恵
学校教育部指導担当部長	斉 藤 郁 央
学校施設整備担当部長	八 木 忠 史
学校給食施設整備担当課長	小 林 順 一
教 育 総 務 課 長	渡 邊 聡
学 校 教 育 政 策 課 長	橋 本 盛 重
施 設 管 理 課 長	松 土 和 広
保 健 給 食 課 長	田 倉 洋 一
教 育 支 援 課 長	山 田 光
指 導 課 長	大日向 由紀子
教 職 員 課 長	溝 部 和 祐
統 括 指 導 主 事	野 村 洋 介
統 括 指 導 主 事	上 野 和 広

生涯学習スポーツ部長	音村 昭人
図書館部長	小峰 修司
指導課指導主事	木村 一史
教育総務課主査	長井 優治
教育総務課主事	池上 光
教育総務課主事	羽山 和雅
教育総務課会計年度任用職員	古瀬村 温美

八王子市立中学校・義務教育学校（後期課程）使用教科用図書選定資料作成委員会

教科別調査部会「国語（書写）」部長	坂内 聡
教科別調査部会「国語（書写）」副部長	池田 栄一
教科別調査部会「社会（地理・地図）」部長	小暮 恵一郎
教科別調査部会「社会（地理・地図）」副部長	中村 嘉男
教科別調査部会「社会（公民）」部長	竹口 君夫
教科別調査部会「社会（公民）」副部長	今泉 智英
教科別調査部会「社会（歴史）」部長	川島 清美
教科別調査部会「社会（歴史）」副部長	糺 沢 雄司
教科別調査部会「数学」部長	黒島 永虎
教科別調査部会「数学」副部長	深瀬 健志
教科別調査部会「理科」部長	中嶋 昭江
教科別調査部会「理科」副部長	本田 秀雄
教科別調査部会「音楽（一般・器楽合奏）」部長	畑野 茂実
教科別調査部会「音楽（一般・器楽合奏）」副部長	鈴木 啓太
教科別調査部会「美術」部長	市場 陽一郎
教科別調査部会「美術」副部長	吉田 直幸
教科別調査部会「保健体育」部長	中村 真一
教科別調査部会「保健体育」副部長	平山 公紀
教科別調査部会「技術・家庭」部長	山口 徹
教科別調査部会「技術・家庭」副部長	竹田 幸恵

教科別調査部会「外国語（英語）」部長

木 内 苗津子

教科別調査部会「外国語（英語）」副部長

小 島 幸 子

教科別調査部会「道德」部長

内 野 雄 史

教科別調査部会「道德」副部長

近 藤 政 男

【午前9時30分開会】

安間教育長 大変お待たせをいたしました。定刻になりました。本日の委員の出席は5名でございますので、本日の委員会は有効に成立をいたしました。

これより令和2年度第7回定例会を開会いたします。

本日は、大変大勢の傍聴人にお越しいただくということを想定いたしまして、八王子市教育委員会傍聴人規則では、第3条におきまして、傍聴人の定員は40名と定められているところでございますが、必要と認める時は、これを変更することができるとのただし書きがございます。これに基づきまして、本定例会では、傍聴席を80席御用意してございます。

本市では、地球温暖化対策、省資源対策の一環として節電等に取り組んでおります。本定例会においても、職員のクールビズを実施いたしておりますので、御理解いただきますよう、お願いいたします。

本日の議事録署名委員の指名をいたします。本日の議事録署名委員は、柴田彩千子委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

本定例会におきましては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、教育委員会事務局管理職の出席について、部長職以外は、基本的に付議案件がある管理職に限定する対応とさせていただきますので、御理解いただきますよう、お願いいたします。

それでは、議事の進行をいたします。協議事項となります。

安間教育長 令和3年度八王子市立中学校・義務教育学校（後期課程）使用教科用図書の採択についてを議題に供します。

まずは、本件について指導課から説明願います。

上野統括指導主事 それでは、令和3年度八王子市立中学校・義務教育学校（後期課程）使用教科用図書の採択について協議をお願いいたします。

こちらは、令和3年度から4年間、八王子市立中学校及び義務教育学校（後期課程）使用教科用図書の採択となります。

令和2年4月22日決定の、令和3年度八王子市立中学校・義務教育学校（後期課程）使用教科用図書の採択要綱に基づき、教科用図書選定資料作成委員会を設置

し、調査・研究を行ってまいりました。今回採択を行う教科及び科目は、国語は、国語と書写の2科目。社会は、地理的分野、歴史的分野、公民的分野、地理の4科目。数学。理科。音楽は一般と器楽合奏の2科目。美術。保健体育。技術家庭は技術分野と家庭分野の2科目。外国語は、英語。道徳の以上10教科、16科目でございます。各教育委員の前に見本の教科用図書が置いてありますので、必要に応じて御活用ください。どうぞ、よろしく願いいたします。

安間教育長　　只今、指導課からの説明は終わりました。

それでは、協議が始まる前に協議方法についてでございます。只今、指導課から説明があったように、採択要綱によりますと、教科用図書選定資料作成委員会の報告などを参考にしながら行うということになっておりますので、まずは資料作成委員会の委員の方々から御報告をいただきまして、その後、各教育委員から御質疑という形で協議を進めていただければというふうに思っています。

本日は、10教科16科目全ての協議を行いまして、次回、8月12日の教育委員会定例会において、各教育委員の意見を述べていただき、各教育委員が推したい教科書の発行者の投票を行うという形で進めさせていただきたいと思っております。

従いまして、本日は全教科全科目に関する御質疑をいただくこととなります。

御異議はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長　　御異議ないものと認めまして、協議方法はそのようにしたいと思います。

実際の協議に入ります前に、私のほうから1点、大元のことを確認させていただきたいと思っております。昨年度の小学校の教科書の採択の際にも申し上げましたけれども、学習指導要領の内容が1・2年、3・4年、5・6年と2学年まとめて示されている国語、書写、音楽、道徳について。小学校ですね。現在使用している発行者の新版の教科書を使用したほうがよいのか、新しく採択をした発行者の新版の教科書を使用したほうがよいのか。また、不都合はないのか。そんな点について質問をさせていただきました。

今回の中学校・義務教育学校後期課程教科書採択においても同様の対応が生じるのであれば、まずは事務局のほうから説明をお願いしたいと思います。

上野統括指導主事 今回の中学校及び義務教育学校後期課程の教科書採択につきましても、昨年度の小学校での教科書採択と同じように、留意しなければならない教科がございます。教科につきましては、英語と道徳になります。英語は、学習指導要領において、複数学年の指導内容が一体となっておりますが、教科書は1年生、2年生、3年生と学年別に発行されております。

同じように道徳につきましても、英語と同様に学習指導要領において複数学年の指導内容が一体となっておりますが、教科用図書、教科書は、1年、2年、3年と学年別に発行されております。英語と道徳のように学習指導要領において複数学年の授業内容が一体となっている教科であって、教科書が学年別に発行されている場合は、原則として全学年で新版の教科書を使用することとなっておりますが、採択替えによって今年度と異なる発行者の教科書を使用することとなった場合、採択権者である教育委員会の判断により、第1学年については採択変更後の発行者の新版教科書を使用し、第2学年、第3学年については、採択変更前の現在使用している発行者の新版教科書を使用することも可能となっております。

なお、書写、地理、歴史、地図、音楽一般、器楽合奏、美術、保健体育、技術家庭についてですが、書写、また第4学年の社会の地理的分野、社会歴史的分野、地図、第3学年の音楽一般、器楽合奏、第3学年の美術、また保健体育、技術家庭については、学習指導要領に応じて複数学年の指導内容が一体となっておりますが、教科書は学年ごとの発行となっておりますので、前年度までに付与された教科書を継続して使用することとなっております。

説明は、以上になります。

安間教育長 そのようにさせていただきたいと思います。

それでは、只今より協議に入りたいと思います。

それでは、まず国語について調査部会から報告をお願いします。

坂内教科別調査部会「国語」部長 では、本日は次の3点について報告いたします。

1点目は、八王子市の生徒の国語に関する実態。

2点目は、教科書採択に関するアンケートの回答結果等について。

3点目は、調査報告書から特に報告しておきたいことの以上3点です。

では、1点目です。八王子市の生徒の国語に関する実態についてです。各調査部

会で色々な結果が出ました。ただ、今年に関して言うなら、新2年生の実態が分かっていない状態での話し合いになりました。そこで、昨年度の小学校4年から6年の学力調査に基づいてお話をさせていただきます。全体として、東京都平均より約4%、問題数にして1、2問低い傾向があると言える状態であります。なお、4領域については、言語に関する内容についてその差が高いということが言えます。しかし、突出しているわけではないので、今後、個々の状況に応じて個別の指導をすることにより、これについては解消できると考えております。

2つ目です。教科書採択に関するアンケートです。教科書センター等のアンケートで、国語について記載のあるものは5件でした。教科書全体について書かれているものは除きます。また、学校からのアンケートは12件ありました。4社の教科書を比較して、4社全てを取り上げている意見はありませんでした。4社のうち、1社もしくは2社の教科書の良い面について記載されているものが多かったです。

このアンケートの内容で特徴的なものは、学習の内容が詳しく書かれているもの、既習内容の振り返りがしやすいものという意見がありました。

また、保護者の意見につきましても、本年度、陵南中学校のPTA役員と話した時に、この教科書はどうかと聞きましたところ、教科書そのものというより、重さの軽いもの、これがいいという意見が多くありました。

次に行きます。3点目です。調査報告書から特に報告しておきたいことです。主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、新学習指導要領では、主体的・対話的で深い学びの実現が授業を進めていく上で重要な視点となっています。国語科では、言葉による見方、考え方を働かせ、言語活動を通して国語で正確に理解し、適切に表現する資質能力の育成を目指しています。その育成には、主体的・対話的で深い学びが欠かせないものになっています。この点について、どの教科書も大変意識した構成になっています。

それでは、ここからですが、大変申し訳ありませんが、各教科書の3年の教科書を少し見ていただけますでしょうか。まず東京書籍の3年です。東京書籍の3年の154ページを開けてください。実は、国語という教科は、大体同じような作品が取り上げられています。故郷という有名な魯迅の作品ですが、これが全ての

教科書に掲載されています。ですので、ここを見比べていただくのが一番分かりやすいと思って、提示させていただきます。

まず、東京書籍の154ページですが、最初に東京書籍の場合は、右下に題字の下に学習のポイントが書かれています。

そして、169ページをお願いいたします。ここで学習の目標が書かれています。そして、学習内容が手引きという形で5題書かれている形態になっています。その次のページは、漢字の新出と、語句の内容という形になっております。

次に行きます。今度は三省堂の教科書です。三省堂は162ページです。この故郷と書いてあるその下に目標が2つ書かれています。そして、176ページとなりますが、学習の道しるべとして、2ページにわたって学習内容が目標、内容整理、読み深める、自分の考えを深めるという形で、2ページにわたって書かれています。

それから、それ以外にも読み方を学ぼうという項目で、次のページですが、漢字について説明が書かれているという形態となっております。

次です。今度は、教育出版です。178ページを開けてください。実は、故郷という本題に入る前に2ページにわたって事前学習用の内容が書かれています。そして、195ページには、学習の手引き、自習で学習する内容が1ページに書かれています。

次のページにも振り返りについて書かれているという形式になっています。

最後です。光村です。96ページを開けてください。目標は、やはり題名の下に2つ書かれています。

そして、今度は112ページです。ここで、やはり2ページにわたって学習について流れに沿って書かれているという形態になっています。それぞれ各社、自分たちで考えてこのような形態となっております。

最後です。生徒の使いやすさを考えると、予習復習とは何をすればいいのか。自分で自学自習できる教科書が使いやすいのではないかというのがありました。

以上で終了いたします。

安間教育長　　只今、調査部会の報告が終わりました。

それでは、国語についての御質疑をいただきたいと思っております。

まずは、最初に私のほうから3点。これは、全教科についてお伺いしていきたいと思っています。

まず1点目なのですが、中学校の国語部会であるとか、そういったところで、国語の先生に集まっていたらとお話しされているのでしょうかけれども、八王子の国語の先生方は、端的に言って、子どもにとってはどのような教科書が効果的であるかと言う声を、感じたことがあれば紹介をしてください。

坂内教科別調査部会「国語」部長 皆様それぞれ話をしていても、やはり色々な意見が出ていますので、1つに定められないというのが実態です。やはり、自分たちがやってきたことを考えた時に、使いやすさは人それぞれですので、すごく申し訳ないのですが、これというものはありません。

安間教育長 もう1つ視点を変えて、今度は先生方ではなくて、例えば、学校公開の折などに、保護者の方々の子どもたちに国語の教科書ではこんなことを学ばせたい、こんな教科書が良いという、そういう願いをもし把握していることがあれば、御紹介ください。

坂内教科別調査部会「国語」部長 先ほども申し上げましたが、本校、陵南中学校のPTAをやっている9名に集まっていたら、教科書を見てどうですか、どんな教科書がいいですかという話をしました。ところが、保護者の皆様の声で最初に言ったのは、教科書の内容よりもやはり軽い教科書が良いと。それが一番大きな意見になっています。

安間教育長 なるほど。分かりました。

最後、3点目なのですが、今後GIGAスクール構想を主に進めてまいります。来年の3月31日までに、全児童生徒へPCを1台配付、それを目指していくと考えていますけれども、その際にそれとリンクする教科書というのはどんなものが効果的で、どんな特徴があればいいとお考えですか。

木村指導課指導主事 GIGAスクール構想により導入される1人1台の学習用端末には、カメラが搭載される予定です。各教科書会社では、カメラでQRコードを読み取ることによって、インターネットにアクセスし、学びを深めることができるコンテンツを準備しています。そのため、1人1台のパソコンの学習環境において、学びを深めることに効果的な教科書が何かという視点で見ますと、QRコ

ードコンテンツが教科の学習を効果的に進めることに有効であるという特徴が必要と考えます。

国語の教科書では、教師が指導の補助をすることや、生徒があらかじめ視聴することで、自主学習に役立てられるよう、作者のインタビュー動画、朗読、話し合いの仕方の解説、学習のポイント、ワークシートなど、学習内容の理解を深めることや、学習活動の参考にすることなどに役立つコンテンツが用意されている教科書が効果的だと考えます。

安間教育長 分かりました。ありがとうございます。

それでは、各委員のほうから御質疑をお願いします。

笠原委員 御説明ありがとうございました。

先ほどの教科書を選択するにあたって、自学自習がしやすいものなどとおっしゃっていたと思いますが、自学自習のレベルなのですけれども、宿題レベルの話なのか、あるいは本当に学校が、今回コロナの部分は大変でどうなるか分からないのですが、本当に学校がお休みの間みたいなことを想定されている自学自習なのか、その辺りのことをお伺いします。

坂内教科別調査部会「国語」部長 自学自習は、通常の中での学習と考えております。

普段から教科書の内容を先生から言われて初めて内容を知るのではなく、自分でこれは何だろう、どこを勉強すればいいのだろうという予習的な要素で考えております。

安間教育長 他にございましょうか。

柴田委員 御説明ありがとうございました。

この自学自習というキーワードなのですけれども、家庭学習で子どもたちが自学自習しやすいものと、それから授業では対話的な学びという、様々な意見を交換し合うというようなことも大事だと思います。そういった意味で、八王子市では初任者や若手の教員が増えている現状がありますけれども、若手の先生が指導を行う際に使いやすい教科書というのは、どのようなものでしょうか。

坂内教科別調査部会「国語」部長 若手教員が使いやすい教科書というところなので、若手教員からも色々話も聞きました。話題が身近なものの方がいいということを若い先生はおっしゃっていました。やはり、自分の体験等から伝

えやすいもののほうが、子どもも教員も、学習しやすい指導しやすいというのがありました。

安間教育長　　よろしゅうございますか。他にございましょうか。

川島委員　　御説明ありがとうございます。

国語につきましては、正しく読み取ることと、正しく相手に伝えるということがすごく大切で、全ての基本になる、本当に大切なことだと思うのですが、ただ、日々生活の中においては、例えばSNSですとか、メールだったりそういう文章で、短い文章で自分の気持ちだったり、出来事を伝える機会が多いかと思えます。例えば、今回のこの教科書の中で、そういうことに少し考慮したような内容が含まれているものがありましたら、教えてください。

坂内教科別調査部会「国語」部長　　どの教科書会社においても、それについては記載があります。ですから、特別この教科書というわけではありません。

川島委員　　ありがとうございました。

伊東委員　　御説明ありがとうございました。

1点、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善をしていくということで、新しい学習指導要領では、それが本当に基本的な趣旨になっていますけれども、国語において、やはりこういった視点において授業改善をしていく上で、やはりどの教科でも同じなのですが、目標を明確にすると。個人の目標を明確にするということと、それから振り返りをしっかり各々していくという。このことによって、子どもたちが主体的に学んでいくという、そういうことが言われていますけれども、教科書を色々見ていると、振り返るということについての記述が、ただ単に目標をもう一度確認して、学んだことを振り返りましょうみたいな感じなのですね。そういった記述に終わっている教科書が多いのではないかという気がしますが、この辺り、先生方としては何か振り返りの仕方をする上で、こういった教科書がいいなというそんなものが、もしお気づきの点がありましたら、教えていただければと思います。

坂内教科別調査部会「国語」部長　　振り返りに関しましては、今回、資料作成委員の中でも話はそんなになかったのですね。どちらかというと、内容と、振り返る中で学習をどう組み立てるのが一番いいのかというところで考えておりまして、振

り返りの内容につきまして、これという話は大変申し訳なかったのですが、話題に上がりませんでした。

以上です。

伊東委員 それはそれでいいと思いますけれども、ただ、ぜひ振り返りをどのようにやっていくのか。例えば、過去の学びとの関係の中で、今日学んだことをどう振り返るだとか、あるいは学習前と学習後において自分の意識がどう変わったとか、それからもっと簡単に言えば、今日学んだことって一体何だったろうというようなこと。こういった教科書を見ますと、単元、全体の振り返りになっていますけれども、やはり1時間単位の授業の振り返りとか学習の目標とか、それから振り返りというの、やはり1時間単位でもやっていくということも必要だと思うのですが、その辺りについては教科書によって違いがあるのかどうなのかということをお教えいただければと思います。

坂内教科別調査部会「国語」部長 1時間単位の振り返りということに関して言えば、どこの教科書においてもそういう意識ではないです。意識として、そこは考えてはいないと私たちは受け止めています。ですし、全体としては振り返りという認識でいました。

安間教育長 ありがとうございます。

他に、委員の方から何か御質疑ございますか。

笠原委員 もう1つ伺わせていただきます。どの教科書でも、本の紹介ですとか、コラムみたいなところにちょっとした色々ことが載っていて、実際に生徒さんたちは、こういう紹介された本を読むとか、そういうことの広がりというのは、実際どのくらい活用されているのか、先生の御実感をお伺いできればと思うんですが。

坂内教科別調査部会「国語」部長 特に夏休み前から長期休業の際、「教科書にこんなのが出ているよね。図書館にもあるからぜひ読んでみて」という形ではよく使っておりますが、学期中という時には、特にはやっていませんでした。

安間教育長 他にございましょうか。

伊東委員 これはよく言われることですが、子どもたちの読解力不足ということで、非常に乱暴な言い方をしておりますが、読解力がOECDの実態調査の中では、そう言われているのですけれども、この4つの教科書会社の違いによって、

国語というのは学習の基盤となる能力である言語能力を培う上で、非常に重要な核となる教科だと思えますけれども、そういう意味でこの読解力を高めていく上で、何か教科書会社に違いがあるのかどうなのか、その辺お感じになられたかどうか教えていただきたいと思えます。

坂内教科別調査部会「国語」部長 4社による違いというのは、やはり我々が話しをしていても、特に大きな違いはなかったと意識でいます。あまりそこよりも、読解力を高めるために、ではこの教材をどうしたらよりよくできるかという、どう指導するかのほうが主な話し合いになってしまいました。

以上です。

安間教育長 よろしゅうございましょうか。

他にございましょうか。よろしゅうございますか。

それでは、他に御質疑がないようでありますので、次の科目に移りたいと思えます。委員の皆様方は、次回までに御意見をまとめておいてください。

安間教育長 それでは、書写について調査部会から御報告をお願いします。

池田教科別調査部会「国語（書写）」副部長 只今、部長から生徒の実態アンケートについては、御報告していただきました。

今回の教科書改訂で書写に対しての大きな特色は、どの教科書もQRコード、URL、動画コンテンツなどを取り入れているというところが、大きな特徴となっております。

それでは、この後、特に特徴的な部分について、御紹介あるいは補足等を申し上げます。

東京書籍ですけれども、「書写の鍵」という題名ですね。小学校の学習項目である、適切に運筆する能力など、振り返りながら段階的に学習できる配慮がされております。

また、基本単元は硬筆文字を題材にして、毛筆で書いて確認し、また硬筆で他の文字を書くということで、文字の定着を図るという特色を持っております。

また、A B判というこの東京書籍と、あと教育出版と書いていますけれども、少し大きめのお手本が書かれております。

また、左利きへの配慮として、教材文字が上に書かれている。その下に書き込み欄をつくって、左利きでも書きやすいような、そんな配慮もされております。これが東京書籍でございます。

次に、三省堂です。三省堂は、発達段階に即して系統的に学習できるように構成にされておきまして、毛筆教材の後に硬筆教材を持ってきまして、ポイントの明確化、さらに基礎編というのが教科書の冒頭でございますが、基礎編を設けて、姿勢、それから用具、あと小学校の書写で学んだことを、その都度確認できるような、そんな構成になっております。

さらに、振り返り学習、先ほど国語科からもありましたけれども、振り返り学習ができるように自分が学んだことを書きなおそうということで、さらに主体的に学習が進められるように工夫されております。また、生徒同士の対話を通して、書写学習を深められるようにも構成されております。

次に、教育出版でございます。教育出版の内容は、何をどのように学び、何ができるようになるかという書写力を図で表して、目標をはっきりさせることで、身に付けたい能力というのをそれぞれが明確に分かるようになっております。

さらに、適切に運筆する能力。これも、小学校段階で学んできたことを段階的に行書の基本的な書き方が習得できるように発達段階に応じてなだらかに学習できるようにしております。

また、先ほど東京書籍でもお話ししました、A B判を半紙型というように教科書会社では書いておりますけれども、大きめのお手本。書き始めの位置、それとあと、字形が整いやすいというところで、子どもたちには示されております。

また、実用的な部分としては、実際のノートの取り方、他の教科にも活かせるように、このような形でノートを取るといいですよという例が出ていたり、あるいは実社会で活用できる事例。例えば、願書の書き方、お手紙、それから、のしとか包み紙にこんなふうにかくといいですよ、こういう例が多く出ております。

次に、光村図書でございます。光村図書も、見開きでとても見やすい形になっております。そして、学習の進め方が示されております。考えよう、確かめよう、活かそう。そして、さらに学習を振り返るというように構成されております。

そこで、書写ブックというのが別冊にありまして、その振り返りのところで書写

ブックの何ページにこんなことがありますよというので、次の課題で深めることにつながるようになっております。また、コラムあるいは文字を使い分けるなど、学びが生活に直結する内容が配置されております。

以上で、説明を終わります。

安間教育長 只今、説明が終わりました。

それでは、書写について御質疑をいただきたいと思います。

まず、私のほうから。八王子の国語の先生方が書写の授業をするにあたって、どんな教科書が良いんだというお声がもしあったら紹介してください。

池田教科別調査部会「国語（書写）」副部長 先生方からは、やはり見やすさ、例文の多さ、紙面が大きいこと、例が大きいことというのを、どの先生も挙げております。

安間教育長 ありがとうございます。

また、もし保護者だとか、地域の方とか、そういう方からこの書写に関して何か、こんなものが良いのではないかという御意見があったら、紹介をしていただきたいと思います。

池田教科別調査部会「国語（書写）」副部長 実は、アンケートにございました言葉で、とても的確だなという言葉がございました。「毛筆で文字の美しさや、文字文化を硬筆で実用性を身につけられるとすばらしい。」「紙面が大きいほうが分かりやすい。」「実用例が大きく掲載されていると、生徒にも理解しやすい。」このような御意見がございました。これは、国語科の教員であるならば、皆さんがそのとおりだなおっしゃる内容だと思います。

安間教育長 大変参考になりました。

先ほど、GIGAスクール構想の関係で、QRコードの話を紹介していただいたのですけれども、私は個人的には、どんなに1人1台のPCがはやろうと、書写の道具だけはやはり持ち帰りをするのかなと勝手に思っているのですが、そういった意味では、GIGAスクール構想の対応でいくと、どんなものが載っていると効果的だとお考えですか。

木村指導課指導主事 書写の教科書に用意されているQRコードの中は、用具の準備や基本姿勢の大切、書く様子を上から撮影した筆運びの動画など、コンテンツに

アクセスすることができます。教師の活用としては、授業でスクリーンに手本の動画を映して、繰り返し再生しながら個別の指導に回るといった活用が想定されます。

また、生徒の活用としては、一人ひとりが必要な情報を選び、繰り返し視聴することができる利点を活かして、授業、また家庭学習で必要に応じて動画を参照しながら学習を進めるといった活用が想定されます。効果的と思われる教科書には、特に筆運びの動画が用意されていることが必要だと考えます。

安間教育長 分かりました。ありがとうございます。

それでは、教育委員の方々から御質疑ございませんか。

笠原委員 御説明ありがとうございました。

書写の授業の時のこの具体的なことを伺いたいのですけれども、実際にこれはワークブック的に書き込めるようになっているのですけれども、皆様は本当にここに書き込んで勉強しているのか、あるいは題材をコピーしたりして、それをワークにするのか教えていただけますでしょうか。

池田教科別調査部会「国語（書写）」副部長 教科書に直接書き込める、多くの先生は、まずはそのまま活用していると思います。そこで、それだけでは不十分なので、プリントを用意しまして、別なものに書かせる。先生によっては、ノートに書かせるという、そういう作業をやっていると思います。

以上です。

安間教育長 他にございましょうか。

伊東委員 御説明ありがとうございました。

先ほどのお話の中で、対話的な活動があるというお話がありましたけれども、書写の授業、学習活動の中で対話をさせるというのは、どういうことが行われるのか、そしてまた、教科書がどのような役割を果たすのか、その辺りを教えていただければと思います。

池田教科別調査部会「国語（書写）」副部長 私が今手にしているのが、一番新しい都中書（東京都中学校書写研究会）の研究授業の冊子がございます。ここで取り上げられているのが、ICTを活用した授業ということで、本市もGIGA構想でここに出ているような区分で、学校で同じようなことができるのではないかと

と思いますが、自分の作品をほかの人から評価してもらおう。あるいは、文字の書き方、文字には例えば横三本引くと、その間、どれぐらいの間を空けるのがいいのだろうかとか、全体評価でなくて、そういう部分評価というのを学び合いながら意見をやる。あるいは、ICTが活用できるのであれば、写真で写して、それをそのクラスの中で共有できる。そこで、見ながら意見をもらったりというところで、またそこが振り返って使えるのではないかと考えております。

伊東委員 大変分かりやすい御説明をありがとうございました。

その中で、教科書の役割というのは、今のお話の中で言うと何か教科書による違いというのはどういう点が出てくるのかということをお伺いします。

池田教科別調査部会「国語（書写）」副部長 ここで大切になってくるのが、先ほど、どの教科書もQRコードだとか、コンテンツを用いているとお話ししましたけれども、ここで、まずお手本、教科書をそれぞれ見ていただくと分かるのですけれども、動画などが入っておりまして、書き方であるとか、そういったことの確認ができるというコンテンツが入っておりまして、間もなく八王子市の全生徒は、これを利用して、例えば新卒採用の若い先生が教える授業であっても、こういったものを活用して同等に学べることを考えております。

安間教育長 他にございましょうか。

川島委員 御説明ありがとうございました。

先ほど国語のところでは保護者からの意見では、例えば教科書は軽いほうが良いという話が多かったというところで、今、書写の御説明をお聞きすると、使いやすいのは紙面が大きいほうが、それはそのとおりだと思うのですが、先生方から見て使いやすいのは確かにそのとおりだと思うのですが、逆に生徒のほうから見て使いやすいというのは、どのような視点があるものだと考えていらっしゃいますか。

池田教科別調査部会「国語（書写）」副部長 子どもたちは、やはり、ぱっと開いて分かりやすい。見て分かる。ですから、説明が色々書いてあるよりも、お手本はこうだよ、注意するところはここだよと、ぱっと見て分かるものが子どもたちにとっては使いやすいと思います。

川島委員 ありがとうございます。

安間教育長 他にございましょうか。

柴田委員 どの教科書にもユニバーサルデザインという工夫が施されておりますが、特に先生から御覧になって、特別な整理が必要なお子さんへの配慮というものが各社の差異でどのようになっているのか、現場で使いやすいものは何かということについて、教えていただければと思います。

池田教科別調査部会「国語（書写）」副部長 例えば、特別な支援が必要な子どもたち、あるいは、外国にルーツを持つ子どもたちも含めて、学びやすさというのは大切だと思うのですね。教科書のそれぞれ特徴をお話ししますと、東京書籍は半紙に相当する部分、先ほどお話ししましたけれども大きいということで、集中を妨げない、色々なものが書いていないので、集中を妨げないです。当然、UDフォントを使用しています。それから左利きへの配慮。

それから三省堂ですけれども、文字の解説図鑑というのが朱墨を使っております。2色用いて筆の移動などを視覚的に理解していくようにされております。

教育出版でございしますが、分かりやすい筆使いというのを掲載しております。また、筆圧などで横線、縦線などが筆圧で上のほうがちょっと圧力がかかっているよと。下のほうが圧力がかかってないよというのが、目で見て分かる形になっております。ここでもUDフォントを説明の中で用いております。

光村図書は、CUD、カラーユニバーサルデザインの観点から、混同しやすい配色を避けるということを行っております。色だけでなく、形や文字と合わせて判断できるようにも工夫されております。

以上です。

安間教育長 他にございましょうか。よろしゅうございますか。

私のほうから1点、これは小学校の時にもお伺いしたのですけれども、中学校で書き初めがありますよね。保護者負担を軽減するという意味から言うと、この教科書を見本にして書き初めなどをやれば、また見本を買わなくても済んだりするのではないかなというところで考えて、小学校の時もお話ししたのですけれども、そこら辺の中学校の実態はどうなっていますか。

池田教科別調査部会「国語（書写）」副部長 授業の中での学び、内容であれば、十分教科書のもので結構なのですけれども、紙面展示ということでお題が出てくる

のですね。東京都で、都中書で、残念ですが、この文字で書きなさいということが出てきまして、どうしてもお手本だけは購入する学校がほとんどでございます。もちろん、お手本、文字が分かっておりますので、非常に長けた先生は、御自分でお手本をお書きになる。こういう先生も一部ございますが、残念ながら、多くはおりません。という理由がありまして、半紙とセットで購入という学校がほとんどでございます。

安間教育長 理解しました。お題が、そういうふうに与えられるわけですね。ただ私自身は少し引っかかっている部分があって、保護者負担になってしまうことに課題意識を持っているんだということだけは、承知しておいていただいて、どこかで何か機会があれば、問題提起してみてください。

他によるしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 それでは、次回までに御意見のほうをおまとめいただきたいと思います。

安間教育長 それでは、次の科目に移ります。

それでは、地理について協議をお願いしたいと思います。

それでは、調査部会からの報告をお願いいたします。

小暮教科別調査部会「社会（地理・地図）」部長 まず、八王子市の生徒の実態について御説明いたします。毎年2年生を対象に行われています都の学力調査の結果から、学力の二極化が進み、思考・判断・表現力の観点で弱い点が挙げられます。中教研の実践や、アンケートの結果から、社会科に対して生徒の好き嫌いが分かっている傾向が見受けられます。学力の高い生徒は、社会科が好きで授業に意欲的に取り組んでおりますが、学力の低い生徒は、社会科は覚えることが多く大変だから嫌いだという答えがありました。生徒たちは、社会科は暗記教科であり、覚えるのが大変だというイメージが強く、この考え方を払拭できるような、生徒が主体的に授業に参加し、将来社会の一員として、社会参画していけるような教科書を採択していく必要があると考えます。

次に、市民アンケート等の結果について御説明いたします。大半は歴史的分野と公民的分野に関するものでしたが、1点、地理的分野の領土のページについて、

多くの教科書会社が間違っているというのがありました。精査したところ、全ての教科書会社は、国の領域は、領土、領海、領空からなると、きちんと説明されています。各教科書会社の領土問題の詳細につきましては、お手元の報告書、調査の観点1、内容の(1)にまとめてありますので、御覧いただければと思います。

また、保護者からいただいた地理の教科書の感想といたしましては、「教科書が大きいですね」「写真が多く、きれいですね」などでした。特に内容についての説明、意見はありませんでした。生徒たちが興味関心を持ちやすい、学びやすい教科書を求めていると感じました。

それでは、報告書の内容から特にお伝えしたい点、報告書の5、その他の地域の在り方について御報告いたします。このたびの新学習指導要領地理的分野における改定の重要点として、地域調査に関わる内容構成が見直され、地域の将来像を構想する地域の在り方が取り上げられました。4つの教科書会社が、それぞれどんな地域を取り上げ、地域の将来像をどう構想させ、生徒たちに成果発表させるのかというところに着目して見てみました。

それでは、お手元の報告書の順番に、東京書籍から御説明いたします。東京書籍は、国連が定めたSDGs、持続可能な開発目標17のうちの11番の視点から、九州の宮崎市を取り上げ、住み続けられるまちづくりの在り方を考えさせていました。構想の成果の発表は、アニメキャラクターを活用し、グループごとに構想のテーマ、解決策をまとめた提案がなされ、生徒たちが意見しやすい工夫が見られていました。

教育出版は、地域の課題を調べるキーワードとして、高齢化を挙げていました。対象地域として、八王子市を含めた多摩ニュータウンを取り上げ、持続可能性の視点から、少子高齢化によって将来地域はどのようなようになるのか考えさせていました。構想の成果発表は、ポスターでまとめる方法が紹介されていました。

帝国書院は、修学旅行で訪れる京都市を通じて、持続可能な観光について考えさせていました。対象地域の京都市は、八王子市の中学校が修学旅行で訪れる地であり、当事者性を引き出しやすいと感じました。構想の成果発表は、プレゼンテーションソフトを使った具体的なまとめ方、ポスターの作り方があり、デジタ

ルとアナログ両方のまとめ方が生徒に分かりやすいと印象を受けました。

日本文教出版も対象地域として、同じく京都市を取り上げていました。様々な立場の人が、まちづくり会議でプランを立てさせる構想になっています。提案が対立した時の合意形成をする方法が紹介され、公民的分野の対立と合意の考え方も示されていました。生徒たちが深い学びにつながる、公民につながる構成がなされていました。全ての教科書が課題把握、要因の考察、解決策の構想、構想の成果発表の形をとり、持続可能性に着目させ、地域の在り方を考えさせる工夫が見られていました。

以上で報告を終わりますが、最後に、このたび八王子市の日本遺産認定、誠にありがとうございます。中学校社会科の授業におきましても、このことを広く子どもたちに知らせ、八王子のよさを伝えていければと思っております。

以上で、御説明を終わります。

安間教育長 只今、調査部会の報告が終わりました。

それでは、地理について御質疑をいただきたいと思いますが、まず私のほうから1点。八王子の社会科の先生方、どのような教科書が望ましいとお考えなのか、内容をお聞かせください。

小暮教科別調査部会「社会（地理・地図）」部長 やはり、学習が苦手な生徒もおりますので、生徒にとって一番分かりやすい教科書、生徒にとって分かりやすい教科書というのが一番だと思います。では、そのための教科書がどういう教科書かといいますと、やはり学習課題が明確になっている。今日こういうことを私が学んだのだということが分かるような教科書が一番だと考えております。

安間教育長 次に、先ほど市民アンケートの御紹介がありましたけれども、保護者の方々から地理の教科書について、何かご意見をいただくことがあったら、御紹介いただけますか。

小暮教科別調査部会「社会（地理・地図）」部長 やはり、内容的な面については、細かい感想はなかったのですが、やはり写真などが非常にきれいである、視聴覚資料、そういったものが充実しているような教科書が、子どもたちにとって興味関心を持たせやすいのではないかと考えております。

また、先ほど国語部会でもありましたけれども、保護者のほうでは、やはり色々

な教科がありますので、生徒が持ち帰りしやすいように軽い教科書が望ましいという声もありました。

安間教育長 ありがとうございます。

今おっしゃった視聴覚というお話がありましたが、GIGAスクール構想をこれから進めていこうと思うのですけれども、どんな特徴があると、地理の教科書としてはふさわしいと思いますか。

木村指導課指導主事 教科書のQRコードからアクセスできるコンテンツには、地図の種類による特徴をアニメーションで解説するといった解説動画や、地形や土地利用について分かる電子地図へのリンク、学習動画へのリンクなど、教科書に加えて活用することで、学習内容の理解を助けたり、深めたりすることに役立つリンク集などがあります。これらのコンテンツは、授業内で教師が視聴させることや、生徒が調べる活動に活用するといった目標が考えられます。そうした活動に活用しやすいコンテンツが用意された教科書が効果的だと考えます。

安間教育長 ありがとうございます。

それでは、御質疑いかがでしょうか。

川島委員 御説明ありがとうございます。

御説明の中にどうしても社会地理は、暗記が多くなってしまっているという、そういうイメージがあるとおっしゃっていましたが、実際に例えば、歴史の背景には地理的な要素がすごく大きかったり、そういうのは間違いなくあるのは当然だと思うのですね。そういうところを含めた、関連づけがほかの教科との関連、ぶつ切りの知識ではなくて、関連づけされていることというのは、教科書の中でも見られるのでしょうか。

小暮教科別調査部会「社会（地理・地図）」部長 やはり各教科書会社、地理の教科書ではあるのですけれども、歴史的分野、公民的分野との関連性というのは重視しております。それが分かる記号であったり、印であったりというのは各教科書会社とも明示されております。

具体的に、あと、お手元の報告書の1、内容（1）の領土問題のところがありますが、例えば、領土問題につきましても、地史的なことだけではなくて、教育出版、帝国書院、日本文教出版も全て歴史年表とか、編成の地図を載せてありまして、や

はり歴史的なことも背景として押さえながら地史的なことも押さえしていくというところは教科書会社のほうで考えてきています。

安間教育長 ありがとうございます。

他に御質疑ございますか。

笠原委員 御説明ありがとうございます。

先ほど、本市が日本遺産に認定されたということについても、多くの影響がありますけれども、すごくやっぱり授業のボリュームはたくさんあって、とても内容がどの教科書も濃いなと思って見させていただいているのですけれども、実際に、ぜひ子どもたちに教えてもいただきたいと思いつつも、そういう時間は教科書に書いていないことも、その他の資料などとして取り入れられるお時間というのは、どれくらいあるのでしょうか。

小暮教科別調査部会「社会（地理・地図）」部長 確かに今おっしゃっていただいたようにボリュームはあるのですけれども、実際、地理の単元で、地域調査の単元があります。ですからその中で、今回、もちろんこの新しい教科書には、日本遺産のことも八王子市のことも掲載されてはおりませんが、後ほど説明があるかと思いますが、地図のほうには日本遺産で認定された場所が出てきております。ですから、そういった際に、それを含めて、今度こういうところが認定されたんだよということ子どもたちに教えていくことはできるのではないかと思います。

伊東委員 御説明ありがとうございました。

地理的分野の部分では、私は、色々な地域の人々がどういう暮らしをしているのかということ子どもたちが知り、自分たちが生きているところとの関係とか、市内とか、そういったことを学んでいくということが基本的なことだと思うのですけれども、先ほど、御説明の冒頭に、暗記教科という印象が拭えず、思考力、判断力、表現力が、なかなか培うことができないというお話がございましたけれども、率直に、そういった授業の狙いを踏まえて、思考力や判断力、表現力を育成する上で、こういった教科書が一番教員から見て必要かなというふうに思っているのでしょうか。

小暮教科別調査部会「社会（地理・地図）」部長 まず、先ほど、国語部会を聞いていたのですけれども、まとめ方のところを伊東委員がおっしゃってありました。や

はりまず、ふだんの授業の中では、振り返り、まとめの部分で力を育成することが肝要かと思います。

これは、どこの教科書会社も単元の終わったところに、振り返るページを取っておりまして、そこで子どもたちにしっかり思考させる構成にはなっておりますが、特に私は、帝国書院のまとめのところに、手書きでまとめる感じになっておりまして、ただ何も無いところに子どもにまとめさせるというのはなかなか難しいのではないかと思うのですけれども、途中まで書いてあるのです。ですから、そういう子ども一人ひとりのニーズに合わせて、少し支援しながら子どもに思考させていくと、また、深い学びにもつながっていくのではないかと考えております。

安間教育長 他にございましょうか。

柴田委員 御説明の中で、地域の在り方では、地域の将来像を子どもたちが地理的にしっかり把握をした上で描いていけるような内容がどれにも盛り込まれているというお話を伺いました。確かにそうなのですけれども、地域の特色をしっかりと把握をした上で、教科書は情報を提示すると思うのですけれども、その上で、子どもたちが具体的にそれを考えて、しっかりと社会参加をして、自分たちで地域をつくっていくのだという工夫がされている教科書、そういう工夫が見られる部分というのは、どんなところにあるのでしょうか。

小暮教科別調査部会「社会（地理・地図）」部長 これは、やはり時間を取って説明させていただいた、今回の目玉と言っていいと思いますね。単純に地域を調べるだけではなくて、地域の在り方というところで将来像を構想させるということを生徒たちに考えさせると。ここはどこの教科書会社も非常に力を入れております。

ですから、ここを本当に実践していくことが、私たち教員にとっては重要だと思っておりますので、実践できる、しやすい教科書を選択、採択していくことが必要かと思っております。

安間教育長 ありがとうございます。

伊東委員 何度も申し訳ありません。先ほど、ちょっと私もお話させていただきましたけれども、子どもたちが色々な地域の様子を知る上では、はっきりとそう弁じていければ一番いいのですけれども、それができない中で、教科書とか地図を使いながら色々なことを子どもたちが調べていくわけなんです、その決定的な教材とし

ては、やはり写真とか、静止画、動画でも必要でしょうし、それからグラフとか資料とか、そういったものも必要だと思うのですけれども、そういった、これからGIGAスクール構想というものの、教育長が先ほどからおっしゃっていますけれどもGIGAスクール構想もすぐに実践できると思うのですが、そういった上で、この地理の授業って、それに乗せる上で非常に重要なことだと思うのですが、そういう何か資料を附属でつけている、用意しているような教科書会社というのはあるのでしょうか。

小暮教科別調査部会「社会（地理・地図）」部長　そここのところが、やはり地図と連携して、同じ教科書会社のほうで連携しながら配慮しているというのは見受けられたと思います。

あと、私たち八王子市の教員としましては、もちろん今、伊東委員がおっしゃられたようにフィールドワークをするのが一番いいと思うのですけれども、今社会科のほうで資料作成委員会という委員会を立ち上げておまして、そこで社会科の副読本等も毎年作成し、更新しております。それを来年度以降、端末のほうに入れて、資料を引き出しやすい、今、私のほうで担当しているのですけれども、そういう構想で今動きつつあります。

安間教育長　他にございましょうか。

1点、どうしても聞きたいことがあるのですが、当然今年は、間に合っていないのは分かった上で、日本遺産のことなのですけれども、都内で唯一、八王子市が認定された。その八王子市をこのまま学ぶべきものの中に、日本遺産との関連といたら、例えばどんなものがあったら、今はないのでしょうけれども、今後あたらいいとか、副読本というお話がありましたけれども、それとの結びつきをつけるとすると、どんな要素がよりあるといいと、もう本当に漠然とでいいのですけれども、思いついたことがあればお聞かせください。

小暮教科別調査部会「社会（地理・地図）」部長　個人的な意見も入ってしまうのですけれども、私が日本遺産の中で一番好きなのは、滝山城です。この前も校長会の後に委員の人にジオラマを解説していただきましたが、あの解説をもっと聞きたかったと個人的には思いました。やはり、実際に子どもたちにその場所に行ってもらって、一緒に体験しながら勉強するのが一番いいのだと思うのですけれども、なか

なか難しいのであれば、やはりそういうジオラマであるとか、そういったものが分かる資料が掲載されているのが大事かなと思っております。

安間教育長 分かりました。参考にさせていただきます。

よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 他に御質疑ないようでございますので、次の種目に移りたいと思います。

それでは、地図について調査部会から報告をお願いします。

中村教科別調査部会「社会（地理・地図）」副部長 それでは、地図について御報告いたします。

まず、生徒の実態につきましては、先ほど部長の報告したとおりです。地図担当より少しだけ補足いたしますと、地理的な見方、考え方を身につけるために重要な地図ですが、地図を見ること、読むことに興味関心を持つことや、なぜそうになっているのか、様々な情報を関連づけて答えを導き出すことに効果を感じている生徒が少なからずいるのではないかという印象があります。二極化傾向の原因には、このようなこともあるのではないかと思います。

そのような状況に対して、小学校からの楽しく、また、地図の情報を正確に把握する基礎力を身につけることが大切になり、その接続をスムーズに行うことが重要であると考えます。つまり、地図には興味関心が持てる見やすい地図であることと、多面的、多角的に考察するための適切な資料が豊富であることが望まれると思います。

次に、アンケートについてです。特に地図についての記述はありませんでした。教科書の学習をサポートする資料としての重要性があまり伝わっていないのかもしれないかもしれません。

最後に、報告書の内容から御報告いたします。

地図を活用することは、どこに何があるのかを理解するだけでなく、なぜそうなのかを考察するための重要な手段であり材料です。また、単に地図を見るための知識や技能を得るだけでなく、それらを活かして多面的、多角的な考察をする、つまり思考、判断、表現することにつなげていくためのものということです。

これらの地理的な見方、考え方をもとに、課題を追及し、解決策を考えていくものとして、1、内容、2、構成上の工夫、3、情報活用能力の育成に関する配慮、4、使用上の便宜、5、その他、今日的な課題の5つの観点から調査をいたしました。

内容や使用上の便宜に関しては、それぞれの地図帳に工夫が見られます。帝国書院の地図帳は、見ていただくと分かりますが、A4判で非常に大きく感じると思います。東京書籍のほうも横広になってA3判なのですが、重ねて見ると4センチほど大きさが縦に違ってきます。

帝国書院はやはり大きいので、広い範囲を大縮尺で網羅でき、世界の州をダイナミックに丸ごと把握することができます。東京書籍は、ページいっぱいに大縮尺で表現をしたり、見開きで縦に地図を配置することで広い範囲を網羅しています。また、東京書籍では、写真資料が非常に多く、具体的に子どもたちが理解することに貢献しています。

それから、帝国書院では、各ページに複数「地図活用」というコーナーがあります。これは地図から読み取る学習活動や言語活動を促すもので、小学校用の地図帳で行ってきた作業をさらに深めるものになっています。導入時の問いかけや、生徒の自学自習にも役立ち、また、若手教諭の発問の参考になり、授業づくりの道しるべになると考えられます。

東京書籍では、キャラクターの吹き出しで読み取りのポイントや見方を示し、考察を深めるようになっています。また、「ジャンプ」という表示で関連するページを示し、学習に広がりを持たせようとしています。

帝国書院、東京書籍ともに、これらの学習活動をもとに教科書と連動して言語活動を行うことが可能になっています。

構成上の工夫については、主体的・対話的で深い学びの実現のため、地理的分野だけでなく、歴史的分野や公民的分野との関連を示す資料が適切に配置されています。また、情報活用能力の育成への配慮では、二次元コードやURLを表示して家庭学習を進めやすくしています。

今日的な課題について、東京書籍ではSDGsについて一覧を掲載し、「環境・エネルギー」「防災・安全」「人権・平和」「伝統・文化」「情報・技術」の五つ

のテーマで関連ページに配置しています。

帝国書院は、「防災」「環境」「日本との結びつき」のテーマで特設資料図を適切に配置し、これからの課題と持続可能な社会について意識できるようにしています。

それぞれの地図帳について大まかに補足してきましたが、両地図帳ともに、十分教科書の学習をサポートすることができるもので、あとは、教員がどのように活用するかが重要であると思われます。

以上で報告を終わります。

安間教育長　　只今、報告が終わりました。

それでは、地図について御質疑をいただきたいと思いますが、私のほうから、今も先生方の力量がというお話がありましたけれども、どんな地図帳が社会科の先生方、有効だとお考えなのですか。傾向があったら教えてください。

中村教科別調査部会「社会（地理・地図）」副部長　　まず、どのような地図帳がということですが、やはり地元である八王子に関連した身近な話題、そういうものがあるものというふうに考えます。

もちろん、全国のためにつくっている教科書ですので、なかなかそうはいきませんが、実際に報告書にも書きましたが、それぞれの地図帳には、八王子に関連するものが幾つか載っています。先ほど出ました滝山城跡や八王子城跡、もちろん高尾山、薬王院まで載っているものもあります。本当はここに、先ほど話題になりました日本遺産という形で、ストーリー性のある表記が八王子のためにあるといいのですが、そこまでは難しいと思いますので、副読本のほうに委ねたいなというふうに思っています。そういう八王子に関連する内容ですね、そういうものが載っている地図帳というのが活用できる地図帳だと思います。

安間教育長　　ありがとうございます。

保護者の方々はどうなのでしょう。たしか昨年、お家でテレビのニュースを見ていて、子どもと地図帳を出して、一緒に話しをしたという、そんな話を聞いたのですけれども、保護者の方々というのは、この地図帳って、久々に開けるのではないかなと思うのですけれども、そんなエピソードはございますか。

中村教科別調査部会「社会（地理・地図）」副部長　　今、教育長がおっしゃられたよ

うな使い方が、家に持って帰ってリビングに置いておくと、テレビを見ながら活用できる、同じ話題を子どもたちと保護者が共有できるというのが理想だなと思っています。ただ、大きさが大きかったり、重かったりするのので、どちらかという和学校に置いておいてもいいよという対応をしていることも多いです。

それから、授業では、地図帳はもちろんそれぞれ活用するのですが、一斉に進めている時には、当然大きなデジタルで映し出したりというふうな形を取りながらやっておりますので、今後、デジタルコンテンツなどを使いながら、家で子どもたちが作業する時に保護者も関わって、こういうのがいいというふうな意見が出てくるのではないかなというふうに思っています。

安間教育長 保護者の訴えは貴重ですから、ぜひ継続して収集してください。

今、ちょうど出ましたけど、そういった意味でもGIGAスクール構想とのリンクの考えと、地図帳というのはどんな特徴があったほうが良いと考えますか。

木村指導課指導主事 地図帳には、もともと様々な図やデータが掲載されていますが、QRコードによって、3Dでの地図表示も可能な電子地図にアクセスすることや、統計情報を検索すること、あと、学習内容を確認するクイズに取り組むことなどができます。これらのコンテンツは、授業だけではなく、家庭学習でも活用することが想定されます。そのため、授業でも家庭でも活用がしやすいコンテンツが用意されている教科書が効果的だと考えます。

安間教育長 分かりました。

それでは、御質疑いただきたいと思います。

伊東委員 御説明ありがとうございました。

今も話題に出ていましたけれども、やはり地図、GIGAスクール構想とかでも、重要な教材だと思うのですが、教科書会社の中には、先ほど二次元コードが出ている教科書会社の地図帳がありますけれども、これはどういうふうに使うのか。これを例えば家庭で、先ほど自宅には地図帳を持ち帰らせないというお話、持ち帰らなくてもいいみたいな御指導をしている学校が多いのかもしれないけれども、そうした時に二次元コードなのですけれども、家庭で子どもたちが見れないわけなんですけれども、これを活用できる学習の進め方というのはどういう問題が可能なのかを教えていただければと思います。

中村教科別調査部会「社会（地理・地図）」副部長 地図帳を持ち帰らない中では、当然QRコードを映すこともできませんので難しいと思うのですが、持ち帰らせるようにするというふうなものと、それから、今学習しているところをコピーしていくというふうなこともQRコードさえあればできると思っています。

当然、家庭では、そういう説明のビデオですとか、そういうので深める学習もできると思うのですけれども、もう1つ、白地図帳などをダウンロードできたりするのですね。そういうものをダウンロードしながら、その白地図帳に自分の得た知識を重ねていくというところが地図の醍醐味かなというふうに思って、それを理解した時に、発信したくなるのではないかなと思うのですが、そういう活動にもつなげていければなというふうに思っています。

伊東委員 ありがとうございます。

このQRコードは、例えば先生方がよく補助教材でプリントとかつくりますよね、何か。そういったプリントに、印刷をしたものをそれをまた読み取ることというのはできるのでしょうか。

中村教科別調査部会「社会（地理・地図）」副部長 QRコードについては、鮮明であればできますので、大丈夫だと思います。ちょっとまだ実験していないことですので、責任を持って100%というふうには言えませんが、大体QRコードをコピーして使うことはできますので、大丈夫だと思います。

上野統括指導主事 今、中村副部長からもお話がございましたので、GIGAスクール構想での1人1台、コンピューターは、御家庭に持ち帰りも想定しておりますので、例えば、授業の中で地図帳を見てQRコードを読み取る。それをそのまま持ち帰ることによって御家庭でも見ることはできますので、御家庭に地図帳がなくとも、タブレットで端末1台あれば、御家庭でも教科書を見ることができるよう環境が整うこととなります。

安間教育長 他にございますでしょうか。

柴田委員 御説明ありがとうございました。

ユニバーサルデザインに配慮されて、カラーで写真が多く、分かりやすい地図帳、2冊ともそうなのですからけれども、より考えさせる地図帳というのは、現場の先生から見てもどういふものなののでしょうか。

例えば、最後に、色々国や日本の統計が出ていますが、なぜこの例えば、日本の主な農産物の生産というところがあって、例えば10位がなぜこうなのかというところを地理的に、皆で考えながら精査できるような、そういう考える地図帳って、例えばどういうものなのでしょう。

中村教科別調査部会「社会（地理・地図）」副部長　考えさせる場面をどう創出していくかという形になると思うのですが、もちろん地図帳だけではなくて、教科書と当然連動しているわけですので、教科書の状況と併せて資料として使っていくということになると思います。

それで、地図のほうから見れば、先ほど言いましたように、どうしてそうなのかというふうなところをどういう材料を使って、どうやって紐といていくのかというふうなやり方について、基本的な見方、考え方というのは、小学校3年生からやってきているのですが、それがさらに難しくなったのが、中学生のレベルかなと思います。その道筋を教科書や、それから地図帳を使って与えながら、社会科の教員がうまく表現まで結びつけさせていくというふうな使い方ができれば、うまく活用できたということになるかなと思います。

安間教育長　他にございましょうか。

笠原委員　社会のところと似ているところにはなるのですけれども、例えば、今現在、リアルタイムでハザードマップなんていうのが流れていて、そういうものの読み取り方というのは少し追々になるのかなとは思いますが、教科書のほうに、少し災害に関することが載っていたと思うのですけれども、そういう辺りの連携の在り方とか、先生方の授業の進めやすさとか、子どもたちの理解のしやすさなどは、どういう点に気をつけているのか教えてください。

中村教科別調査部会「社会（地理・地図）」副部長　防災や減災、災害については、過去こういうところでこんな災害が起きました、自然災害がありましたというふうなことについては、地図帳にもその地域には入っていたりして、こんなことがあって、こういうふうな危険がありますというふうな、ハザードマップ的なものはあるんですが、そういうものと、それぞれの学校で、例えば総合的な学習の時間の中で防災教育だとか、防災訓練だとかもしていると思うのですけれども、八王子市でもやはり広いですから、地域によって、どういうところを備えていかなければいけな

いのかというふうなところが違うと思います。それぞれの実態に応じて結びつけていくと、子どもたちにとっては、生活に結びつき、実際に考えなければいけないものになる。単なるハザードマップでここが危険だよというだけではなくて、どうして危険なのか、だからどうしなければいけないのかというところまで、やはり教員が導いていくというのが大事だと思っています。

安間教育長 他にございましょうか。

川島委員 地理と連動しながら使っていくということで、地図を見て、例えば、我々が子どもの頃見て、例えば、ここはどういう農産物ができたりというのを、単体で見えるイメージが昔はあったかと思うのですが、このところ、そういうのが一体的というか、ほかの教科とも連動させながらという工夫がされていると思うのですが、この2つの地図帳で、どのような工夫の違いというのが見られるんですか。例えば観光だったり、先ほどの話の災害ですとか、そういう産業、工業だったり、農業だったり、そういうものについての視覚で分かりやすい工夫というのはどのようなものかなど。

中村教科別調査部会「社会（地理・地図）」副部長 その辺がちょっと客観的というよりは主観的になってしまいますが、地図帳自体での例えば差というのは、見やすさ、それから色合いとか、それから写真の大きさですとか、そういうところの違いはありますけれども、基本的に扱いとしては、どうしてここでこういうものをつくる産業が、例えば興隆したのかなというふうなところで、では、こういう情報と、こういう情報と、こういう情報を重ね合わせていくと、そうなんだなと。さらに、未来は、どういうふうに変わっていくのか、外国の影響があつてとかというふうな形でどんどんつなげていくことができると思いますので、そういう意味では地図帳自体に大きな差はないと考えます。

安間教育長 他にございましょうか。

よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 それでは、次回までに御意見をおまとめいただきたいと思います。

なお、途中でありますが、休憩は2時間ほど経過したところで取らせていただきたいと思いますので、ここはまだ続行させていただきたいと思います。

安間教育長 それでは、次の種目に移ります。

それでは、歴史について、調査部会から御報告をお願いいたします。

川島教科別調査部会「社会（歴史）」部長 次の3点について、報告いたします。

第1に、八王子市中学校生徒の歴史に関する実態。第2に、市民アンケートの回答。第3に、調査報告内容から特に報告したいこととなります。

初めに、八王子市中学校生徒の歴史に関する実態です。小学生の時から、例えば絹織物について学び、本市が歴史的特色にあふれていると理解し、歴史に興味を示す生徒は多いです。

一方、令和2年度都立高校入学者選抜結果報告では、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえ、日本の歴史の大きな流れを理解させる指導と、資料を活用し、歴史的事象を多面的・多角的に考察させる学習活動を必要としています。さらに、課題を見だし、多面的・多角的に考察したことを適切に表現する力を身につけさせる学習活動も必要としています。本市の生徒についても、同様に捉えています。

加えて、文章の読解を苦手とする生徒が一定数いることから、写真や資料等、視覚的に分かりやすいものを補い、概括を捉えさせる配慮が大切です。

次に、市民アンケートの声です。社会に関する感想、評価が106通、そのうち歴史に関しては65通でした。ページ数や文章量の多さに対する意見が3通、史実の扱いについて1通、文字の大きさについて1通の意見がありました。また、特定の教科書の採択についての賛否が計75通ありました。

次に、お手元の調査報告書の内容から、特に伝えたい点と、補足したい点です。新学習指導要領では歴史的な見方・考え方を働かせた問題解決的な学習を通し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指しています。どの教科書もこの点を意識し、構成しています。その中でも、特徴となる点等を紹介いたします。

東京書籍です。各単元で歴史的な見方・考え方を活用し、課題を追及させるコラムがあり、活動が多彩に設定されています。各章末のまとめの活動において、レビュー等の作業を示し、グループで活動させる構成になっています。ほかの教科書に比べ、思考の手順や方法を具体的に複数示し、その作業を通し、論理的思考を生徒が習得するよう工夫しています。

教育出版です。各単元で特徴的タイトルにより内容を示し、確認、表現などのコーナーにより、知識を定着させるよう工夫しています。また、「歴史の技」「読み解こう」等の問いにより、多様な資料を用い、時代の特色を考察する技能が身につくよう工夫しています。さらに、「歴史を探ろう」のテーマを現代につなげ、興味を引き出す工夫もしています。各章末、学習のまとめと表現で、新聞や表の作成、資料の比較、関係図でのまとめなどの活動を通し、論理的思考力を身につけていく構成となっております。

帝国書院です。各章初めのイラスト「タイムトラベル」により、生徒の学びに向かう意欲を引き出し、気付かせ、考えさせるよう工夫しています。また、全単元で学んだことを確認、説明する問いにより、表現力を育成する構成となっております。

「未来に向けて」や「多面的・多角的に考えてみよう」などのコラムを豊富に掲載し、言語活動や様々な立場、または選択を踏まえ考察する活動を設定しています。加え、地域史により互いの文化を尊重し合う態度を涵養するよう工夫している点も特徴です。

山川出版社です。他の教科書に比べ、本文の根拠が小さく文章量が多いです。重要語句を示す太字も多用しています。文章量を増やすことで、推移、因果関係、差異などを記述し、歴史の流れを理解させ、用語解説により知識、技能を定着させるよう工夫しています。自分で学ぶ自学による事象の理解に役立ちます。美術作品、遺物、石碑等の資料には発問を細かく設け、歴史を考えさせる工夫がなされています。また、特定の世紀を世界地図とイラストで概括的に捉えさせようとしています。

日本文教出版です。ほかの教科書が1単位時間2ページ構成なのに対し、資料や本文の分量や配置の都合からか、1単位時間3ページ構成の単元もあります。授業計画に工夫が必要になります。各編や章の導入にて、日本に影響を与えた世界の歴史を世界地図、イラストにより説明し、推移、相互の関連を示すことにより、各時代の特徴をつかませることとしています。巻末で、災害、政治参加等、現代的課題の解決策を考える手順を示し、公民的分野の復習となるよう工夫しています。

育鵬社です。全教科書中、本文の分量が最も少ないです。また、時代区分別ページ配当では、終戦後を扱う現代が最も少なくした構成となっております。社会的事象に対する視点について、日本の歴史、伝統に対する誇りや天皇に対する崇敬の念を

示すなど、他社の教科書とは異なる扱いをしております。また、国家、社会、文化の発展に尽くした歴史上の人物について、女性の活躍に着目したコラム「なでしこ日本史」を設定していることも特徴です。

学び舎です。大きなA4判に図版資料のスペースに余裕をもたせ配置しています。また、ほかの教科書と異なり、本文に太字を表記せず、内容を理解する姿勢を育てる構成となっています。推移、関連の記述は少なく、また、民衆や女性、子どもなど、様々な立場や視点から歴史を捉えさせていることから、中学生に理解させる上で工夫が必要です。指導計画時間が上限に近い113単位時間程度なので、授業の工夫が求められます。

次に、2点補足します。

1点目は、社会の学習内容と指導方法です。一方通行の享受型授業に変わり、対話型授業を実施することが求められています。一方で、高校入試を控え、教科書の内容を一通り指導する必要もあります。特に3年の3学期の授業時間は十分確保されているとはいいがたく、学習内容を振り返る時間を設定できないことも常です。結果、各教員が知識注入と対話をバランスよく授業を進めることも求められます。

2点目は、歴史的な見方、考え方の指導方法です。教科書に思考の道筋や派生する課題、様々な側面が示されていることは、社会の苦手な生徒にとって助けになります。

一方、歴史的な見方、考え方を一定程度身につけ、自ら考えたい生徒にとっては、妨げになることもあります。生徒の実態を把握し、学習活動を選択し、生徒の考え、意見を引き出す立場として授業を進める力量が教員には求められます。考える対象やエリアが種明かしの教科書に記載されるのではなく、その指導の方法を教員対象の異なる資料にだけ示す方法が有効とも考えます。

以上で報告を終わります。

安間教育長　　只今、調査部会の報告は終わりました。

それでは、私のほうから幾つか確認させてください。

まず、八王子の中学校の社会科の先生方は、どんな歴史の教科書が最も使いやすく、指導しやすいとお考えなのか、もしお声があれば聞かせてください。

川島教科別調査部会「社会（歴史）」部長　　先ほど報告しました都立高校の結果もあ

りますが、本市の生徒には、十分とは言えない文章理解力を、やはり文章以外の資料、写真などで補うと分かりやすくなると思います。それによって全体を捉えることができる生徒も一定程度います。文章量と分かりやすい資料がバランスよく記載されている資料が本市の生徒に適しているとの意見がありました。

安間教育長 ありがとうございます。

一方で、保護者の方から、歴史の教科書に限らずなのかもしれませんが、どんな教科書がいいというお声もしあったとしたらお聞かせください。

川島教科別調査部会「社会（歴史）」部長 コロナウイルスの関係で、学校公開、または授業参観等が開かれていない関係で、直接的な声は聞いておりませんが、今までの声を総合すると、やはり重さに関するもので、特に中学1年生になった時に、教科書が重いと感じるという声が多くあります。一方、その重さとも相対することかもしれませんが、紙の質などの良さですとか、豊富な写真に関しては、とてもいいという感想が入っています。

学校では、持ち帰りさせる、させない、置いてもいい、色々な指導をして、重さに関しては調整しています。保護者からはそんな意見が出ています。

安間教育長 ありがとうございます。

もう1点。今後のGIGAスクール構想において、この歴史の教科書というのは、どんな特徴があったら良いとお考えですか。

木村指導課指導主事 教科書のQRコードからアクセスできるものとして、歴史の学習動画や文化財のデータベース、また博物館へのリンク等が用意されています。授業や家庭学習等において、これらを使用して学習内容の理解を深めたり、関連する情報について調べたりするといった活用が想定されます。そうした活用がしやすいコンテンツが用意されている教科書が効果的だと考えます。

安間教育長 それでは、委員の方、御質疑ございませんか。

伊東委員 御説明ありがとうございました。

先ほど御説明いただいた中で、やはり子どもたちに身につけさせたい資質・能力を考えると、問題解決的な学習とか、そういった活用型の資質・能力を育成していきたいというお話でしたけれども、その一方で知識注入型、入試を意識したというお話がありました。知識注入と、それから対話とのバランス、この辺り、やはり現

場の先生方のお気持ちもそうではないかなと思いますけれども、やはり新しい学習指導要領の授業改善の視点である主体的・対話的で深い学びという、そういったことから考えて、先生方としては、どういう教科書だと一番使いやすいのかというのを教えていただければと思います。

川島教科別調査部会「社会（歴史）」部長 教科書本文の歴史的事象を多面的・多角的に捉えて、その背景など、または類似点など違いを読み取るということが、指導ではとても大切になります。その際の学習のステップを、または指導方法を細かく示したものが教員としては使いやすい。そうすることによって、振り返ることも容易になる。注釈ですとか、コラムなど、そういった疑問を誘発する、そういった課題が提示されているものが使いやすいものではなかろうかと思います。

安間教育長 他にございましょうか。

川島委員 先ほどの御説明の中で、高校入試の件で、世界の流れの中での日本との関連性といいますが、そういうところを重視されてきているよというお話がありましたけれども、実際、そういう観点で見ますと、どういう表示の仕方といいますが、表記の仕方が生徒にとっては頭に入りやすいものだと考えますか。

川島教科別調査部会「社会（歴史）」部長 全ての教科書ではないのですが、大きな大単元は、章だとか編という構造で世界地図とその当時の世界の動きをイラスト等で示している教科書があります。これは、細かいものに興味を持っている、社会科の好きな得意な生徒以外の、どちらかという大まかに捉えることがやっとというか、そういう生徒にとってはとても分かりやすい資料で、そこでつかんだものを詳細に学習したり、またはそこに立ち戻ったりすることで、その地図だとかイラスト、それからちょっとしたコラムを活用した、そうした合流の資料があるというのは、とても有効だと思います。

安間教育長 他にございましょうか。

柴田委員 歴史の教科書の中で、例えば、それに関連したデータが子どもたちの前に示された時に、それを使って、子どもたちが考えて分析して、問題に答える時に、どんな教科書がふさわしいとお考えでしょうか。教えていただきたいと思います。

川島教科別調査部会「社会（歴史）」部長 資料がたくさんあればいいというものでもありませんし、それから、分かりやすければ全ていいというものでもない。ただ、

社会科が苦手な子どもにとっては、そこに対するヒントなりの資料、文言があることによって考えることができると思います。教科書が少し丁寧過ぎて、マニュアル的に色々な趣向が豊富にあることがプラスにも働いていますし、マイナスにも働いている。そういう印象はあります。ですので、その扱いを教員がきちんと示した上で資料をつけないと、盛りだくさんの思考のヒントをたくさん並べただけの授業になってしまいますので、その順番をあらかじめ考えた上で示す必要があると思います。

柴田委員 ありがとうございました。

もう1点、お願いします。例えば、八王子の先ほども日本遺産のお話が出ましたけれども、例えば博物館との連携といった授業を進めていく上で、博物館の学芸員さんと連携しやすい、そういう教科書というのは先生から見てどのようなものなのでしょうか。

川島教科別調査部会「社会（歴史）」部長 教科書とはなかなかそこが結びつかず、実際には教科書にある歴史的な遺産等を八王子とどう関連づけるか。または、本市でつくっています副読本についてもそれと絡めることは可能です。逆に言えば、そういったものを教科書のどこに位置づけるかということを計画の中に入れるとすれば、地域の人材でゲストティーチャーを呼んでやることも可能ですので、そうしたつながりを教科書の中に、どこに位置づけておくかというのはとても大切だと考えます。

安間教育長 よろしゅうございますか。他にございましょうか。

笠原委員 歴史の教科書を拝見して、自身が学んだ時と随分変わっているなということにすごく驚いているところですがけれども、近現代がもう半分以上のページを割いていて、それ以前の江戸時代以前というのがそれより半分になっているというところで、このくらいもう近現代が増えているということで、本当に先生方は、まだ流動的な歴史の中で、お教えになるのはすごく難しいのではないかなと思いながら教科書を見せていただいています。

そこで、実際にここは、多分そんなに明確な違いは教科書の中であるわけではないかと思うのですがけれども、先生方がやはり近現代というものにどのくらいウエイトが置けるのか、というのは、受験ということを考えると、多分また少し定着した

歴史の部分と動いている部分で違いが出てくるのかなと思いながら、でも考えるということになると、近現代ってすごく大事になってくるということで、どんなふうな教育の在り方を先生方が考えていらっしゃるのかということ伺えればと思いました。

川島教科別調査部会「社会（歴史）」部長　　以前ですと、例えば、四大文明などというところで、仮にピラミッドなど詳しく教えることで、子どもたちの興味を引くことができましたが、今は指導教育ではなかなかそこに時間を割けられないのが現実です。

一方、近現代でいいますと、公民的分野の現代的な課題等との関連もあって、全てをそこで歴史として扱わなければいけないとなると、相当な量になりますが、そこは次の学年、公民的分野での学習とうまく結びつけることによって、初めて整理し、場合によっては歴史的な流れだけを説明して、詳細に関しては公民的分野でやるか、それがカリキュラムマネジメントの1つでもあると思うのですが、そういった工夫をすることによって、何とか1年間の中で修めていくようにしています。

安間教育長　　他にございましょうか。

伊東委員　　歴史的分野の学習というのは、1、2年、今は3年の前半ぐらいまでやるので、そうすると中1から中3まで使うことになるわけですね。そういった子どもたちの発達段階を考えたときに、中学校生活、全学年で使うということになると、そういったことに関して何か注意をしていく必要があることなのか、その辺はどのようにお考えなのでしょう。

川島教科別調査部会「社会（歴史）」部長　　注意というところまでできるかどうか分かりませんが、教科書自体の冒頭のところは、やはり小学校との連続性を考えておりました、比較的中学1年生の子どもも興味を持つような、イラストだとか、それから、導入の人物の紹介とか、そういったものがあると思います。それらをうまく活用しながら社会科の歴史的な事象の細かいところでの勉強というもので、中学1年生の間に慣らしていき、さらにテーマとしても多面的に色々と考察しなければいけない、または答えがなかなか見いだせない課題に関しても、別紙の中で扱われているので、中学1年生から3年生まで、全てが歴史の最初のほうが1年生用、3年生は現代用というわけではありませんけれども、そういう扱いもできるように、教員

の工夫もされます。

安間教育長 他にございましょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 よろしゅうございますか。御質疑もないようでございますので、それでは、次回までに御意見をまとめていただきたいと思います。

安間教育長 それでは、次の種目に移ります。

それでは、公民について、調査部会から報告をお願いいたします。

竹口教科別調査部会「社会（公民）」部長 それでは、私のほうから公民の教科書に関して報告をさせていただきます。

本日、次の3点について報告いたします。

1、八王子市の生徒の社会科公民的分野に対する実態について。2、アンケートからの声について。3、報告書内容から特にお伝えしておきたい点と、報告させていただきたい点について。

まず初めに1、八王子市の生徒の社会科公民的分野に対する実態について。中学校社会科は、主に1学年、2学年で地理的分野と歴史的分野を並行して学習し、その学習の成果を踏まえて、3学年において公民的分野を学習します。そのため、3学年で学習する公民的分野では、地理的分野と歴史的分野との連結という点も視点に入れて教科書を選定する必要があるものと思われます。

2学年で行われる学力調査では、地理的分野と歴史的分野について出題されます。その結果の正答率の分布は東京都全体と本市の場合には似た傾向が見られますが、若干、東京都の平均よりも下位の生徒の割合が多くなっています。公民的分野においても、同様の傾向が推測されます。

八王子市は広域であるために、学校により学習課題にも大きな違いがあるものと思われます。学習課題では、基礎的、基本的な知識や技能の習得を中心としたい学校もあれば、そうしたことはある程度、自学自習で習得できるので、より発展的な思考判断、表現の力を身につける学習を中心としたい学校もあると思われます。こうした多様なニーズに応えられる教科書が求められているというふうに思います。

2、アンケートからの声について。教科書展示においては、歴史的分野の教科書

とともに、公民的分野の教科書に対しても比較的多くの御意見を頂きました。

主な意見では、1、日本の文化や社会のよさをどの程度強調すべきか。2、公共の公と個人の個の関係をどのように教えるか。3、憲法の扱い方。特に憲法改正について、どのように教えるかなどを主軸に御意見をいただきました。

3、報告書内容から特にお伝えしておきたい点と、補足させていただきたい点について。まず、どの教科書も検定に合格していますので、一定水準の内容はクリアしていると考えられますが、その中で、特徴的な点について少し触れたいと思います。

東京書籍の教科書は、資料も豊富で公民教科書として必要な課題はほとんど含まれていると感じられました。一方で、かなり多面的、網羅的なため、生徒が学習する際には、教員が読み砕いたり、強弱をつけて整理したりする必要があると思います。

それに対して、育鵬社や自由社と、それから日本文教出版の教科書は、シンプルで分かりやすい面があります。一方、教員によっては、社会科の重要な視点である多面的な見方を育成するという点で、資料や説明の補足が必要となる可能性があります。

教育出版と帝国書院は、両社の中間位置にあたり、バランスよくまとまっているのではないかというふうに思われました。

多様な生徒、学校の状況を考慮した教科書の採択をお願いします。

続いて、新学習指導要領の趣旨を踏まえて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、各教科書とも違いはありますが、それぞれ工夫していると感じられました。

まず、どの教科書も基本的には見開き2ページで1時間の学習となっており、最初に課題、狙いを提示して、その後、学習の展開があり、最後にまとめの振り返りというパターンで、ある程度の読解力があれば、自学自習も可能となっている教科書だというふうに思います。

また、新学習指導要領に示されている指導評価の観点である知識、技能、それから思考・判断・表現、そして、主体的に学習に取り組む態度を意識した編集がなされているということが必要だと思います。

まず、知識、技能の観点では、資料等に裏打ちされた知識、活用できる知識のデ

ー夕化を図る教科書が好ましいと考えます。

また、思考・判断・表現の観点では、良質な問い、考えさせるというような教科書、そしてまた、まとめ方の工夫などが紹介されている教科書が望ましいと考えます。

さらに、主体的に学習に取り組む態度の観点では、生徒の発達段階に応じた興味関心を刺激する事例、実生活の中で課題となっていることで、将来にわたって考えていける事例などを豊富に含んだ教科書が望ましいと考えます。

最後に、生徒が積極的に現代社会の見方、考え方を働かせて、主体的・対話的で深い学びに資する学習ができるように各教科書でも、まとめのページ、それから課題、コラムなどを適宜挿入して工夫していると感じられました。生徒が主体的に学習するためには、先ほどもお話ししましたが、興味関心を喚起する課題や、身近な問題を取り上げること、必要な資料が手に入りやすい教科書が望ましいというふう

に考えます。

以上で報告を終わります。

安間教育長 只今、調査部会からの報告は終わりました。

それでは、私のほうからまた、3点。

まず、八王子の先生方、社会科の先生方は、どんな公民の教科書が効果的だとお考えなのでしょうか。

竹口教科別調査部会「社会（公民）」部長 只今の御質問ですが、広域である八王子市の場合、学校により課題となる点にも違いがあります。そのため、調査部会の中でも、資料が豊富で課題が網羅されている教科書が効果的であるとする教員もいました。また、資料や課題が多少それよりも少なくても分かりやすさをその分重視した教科書が効果的であるとする教員もいました。

部員の共通認識としては、副教材としての資料集等を使わなくても、ある程度教科書の資料だけでも必要な学習が進む教科書のほうが子どもには効果的であるという意見でした。

以上です。

安間教育長 なるほど。よく分かりました。

もう1つ、保護者の方から何か公民の教科書に関する御意見とか、もし取り入れ

られそうなものがあったら紹介してください。

竹口教科別調査部会「社会（公民）」部長　　只今の御質問ですが、市民アンケートに関しては、先ほど報告をさせていただいたとおりですが、保護者、地域の方々からまとまった形で意見を聴取するというはございませんが、以前の教科書に比べてカラフルで見やすくなったという御意見をいただいたり、また逆に、大きく厚くなったので、子どもたちにとっては大変ですねという御意見をいただくことはございます。

以上です。

安間教育長　　最後にもう1つ。G I G Aスクール構想との関連で効果的と思われる教科書というのは、どんな特徴があればいいのですか。

木村指導課指導主事　　QRコードで専用のサイトにアクセスすることで、法律の条文を検索して参照したり、「学習ドア」にアクセスしたりすることができる教科書があります。また、公的機関のサイトへのリンクが用意されている教科書もあります。これらを使用して、授業や家庭学習で必要な情報へアクセスして理解を深め、学びを広げることができると考えています。そのため授業でも家庭学習でも活用しやすいコンテンツが用意された教科書が効果的だと考えます。

安間教育長　　ありがとうございます。

それでは、委員の方々から、御質疑ございませんか。

伊東委員　　御説明ありがとうございました。

公民という教科は、本当に抽象的な内容を含んでいるので、子どもたちはあまり好きではないという子もいるのですけれども、かといって、将来、生きていく上で重要な教科だというふうに思います。そういう意味で、とても大切なところだと思うのですけれども、2点、質問させていただきたいのですが、1点目は、学習内容と、それから将来の日常生活との関係というお話をされていましたが、そういったことから考えると、使いやすい教科書というのはどのようなものなのかということが1点。

2点目は、公民的分野は、基本的な見方、考え方というのが、「対立と合意」それから「公正と効率」という、こういった概念をどうやっていくかということだと思うのですけれども、その辺りについて、何か特色ある教科書があるのかどうか、

この辺りをちょっと教えていただければと思います。

竹口教科別調査部会「社会（公民）」部長　　まず、1点目の御質問ですが、先ほどの報告と重なるところがございしますが、やはり子どもたちの興味関心を引き出すというところが大きいのかなと思います。どの教科書もそういった時事的な現代社会の課題について、砕いて、テーマとしてそういうものを取り上げています。昔の教科書に比べると知識だけを注入するというよりは、こういう問題があるけれども、どう考えたらいいだろうかという問いを投げかける、そういったものが非常に多くて、興味関心をお示しするような事例が多く、その場で答えが出なくても、これからも考えていく必要があるのだねというような形で授業を進めていくということが、公民の場合には多いかなというふうに思います。

それから、2点目の現代社会の見方、考え方を働かせる際に必要となるということでは、課題解決の学習とともに、先ほどお話がありました「効率と公正」、それから「対立と合意」、これはどの教科書も積極的に配慮して取り上げています。これは、多分ずっと授業を続けていく時にも、再びそこに戻ってきて、その視点でもう1回考えてみようという視点を与えるものだと思いますので、教員が教える際には、その部分にまた戻ってくると、繰り返しそこを指摘するということは非常に有効ではないかというふうに思います。

以上です。

安間教育長　　他にございましょうか。

笠原委員　　御説明ありがとうございます。先ほど、現代、近現代のところの歴史のところ、公民に引き継がれる部分が多いのではないかと御報告をいただいたところでしたけれども、今のお話も踏まえて、やはりとても多面的、色々な物の見方に立ち戻らなくてはいけないという、そういう教科だと思っておりますけれども、先ほど、できるだけ資料は教科書の中で扱えるといいという御意見を伺いましたが、ただ一方で、色々な見方、物の考え方となると資料がやはり欲しくなるのかなと思うのですが、実際に現場の先生方は何か使われる資料とか、こういうものは時々お使いになるとか、何か具体的なことを教えていただければと思います。

竹口教科別調査部会「社会（公民）」部長　　只今の御質問ですが、教員によって確かに違いはあるのかなというふうに思います。ただ、保護者負担、副教材で買います

と保護者負担の問題もございますので、また、あと、資料がたくさんあり過ぎて使いこなせない。逆に負担感だけが子どもたちに増えるという部分もございます。その辺り、教員によって考え方が確かに違いはあるかなと思います。

必要な点でいきますと、教科書の中に1つの視点だけではなくて、複数の多面的な視点に沿った資料が十分に用意されているかどうか。不足している場合には、教員が自ら探してきて、プリントで資料を提示するということは非常によくあることです。ただ、教科書の中にある程度そろっていれば、子どもにとってもあっちを見たり、こっちを見たりしないで授業が進みやすいので、そういった面で多面的な資料が入っているか、資料の量だけではなくて、必要な資料が入っているかどうかというのは、1つの視点ではないかなというふうに考えます。

以上です。

安間教育長 他にございましょうか。

川島委員 教えていただきたいのですが、先ほど説明の冒頭で、やはり先生方の力量というのは大切だというお話もあったかと思ひまして、公民より歴史の時にそんなお話があったと思うのです。

ただ、八王子は若い先生方とか、あまり経験のない先生方も多くいらっしゃるで、先生方の力量だけで、だけといいますか、そのところに重きを置くというか、任せてしまうような教科書というのは、やはりよくないと思っています。特に公民、歴史、地理、その連携がすごく大切な分野だと思いますので、そういうところを踏まえると、八王子にとってはどのような教科書が使いやすいのか、経験豊富な先生も、経験があまりない先生も含めて、多分最初にもおっしゃっていただいたと思うのですが、改めて教えてください。

竹口教科別調査部会「社会（公民）」部長 只今の御質問ですが、正直なところ、難しいところかなと思います。ある程度、やはり十分な資料があるということとともに、本文のほうがある程度すっきりしている。量が多過ぎますと、どこに焦点を当てていいかというのは、特に若い先生の場合に、あれもこれも教えなければならないという感覚になりますので、強弱をつけるとか、小さいテーマ、それから大きなテーマという1時間の中にもあると思いますので、そういったところが本文の展開がある程度分かりやすいということも必要なかなと思います。

安間教育長 他にございましょうか。

伊東委員 度々申し訳ないです。先ほど私は、公民って非常に抽象的で子どもたちにとって難しいという話をしてしまったのですけれども、でも、新しい学習指導要領である、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善を行うとすれば、公民的分野は、非常に子どもたちが話し合いをする上で、やりやすいということと失礼なのですが、そういう題材がたくさんあるのではないかなというふうに思います。

そういう意味で、先ほども御説明の中にありましたけれども、良質な質問がある教科書とか、どのような課題が立てられている教科書を選べば先生方が授業をしやすいのか。それぞれの教科書会社で課題をそれぞれ単元でつくっておりますけれども、その課題の進め方、その辺りについて何か先生方のほうで御要望みたいなものがあるようであれば、教えていただければと思います。

竹口教科別調査部会「社会（公民）」部長 只今の質問ですが、実社会に実際に提起している問題ということがまずは1つ、子どもにもそれを考えたいと思えるような質問ですね。これが必要なもの。それからまた、自分が将来大きくなった時に、これは大事な課題なんだと、問題意識を持って、これからの世の中、こういったことが問題、課題になっていくんだということが、まずは意欲をかき立てられるような問いがある。なぜこんなことを考えなくてはいけないのだという質問ではやっぱり駄目なのかなと思います。

それから、もう1つには、やはりその時に先ほどあったように、多面的に見るというためには、1つの方法に話が狭いところに入ってってしまうような質問というよりは、色々な見方がありますねというところが、かなり公民の場合には、結論が出るというよりは、こういう考え方もある、こういう考え方もある、色々な考え方に触れられて、それぞれの良し悪しを自分なりに判断して、だから最終的にはこういう、僕だったら、私だったらこういう結果がいいのではないかと考えると、それは一人ひとり違っていいというふうに思いますので、そういった良質な質問があって、それを支えるような資料がある程度見られるものが必要ではないかなというふうに思います。

以上です。

安間教育長 よろしゅうございましょうか。

柴田委員 1つ教えていただきたいのですけれども、公民の教科は、社会に開かれた教育課程を考える上で、社会に学びの素材というものがたくさんある分野というふうにも捉えることができると思います。例えば、個人という問題と、公共性という問題を考える時に、個人の人権、それを尊重するようなそういう社会をつくっていったり、それから公共性とは何かという、そもそもの問題に考えるための素材であったり、色々な分野が網羅されているものだと思います。そういった時に、特に社会に開かれた共通過程というものを軸にして考えた時に、どのような教科書が先生方は使いやすく、また生徒さんが分かりやすいという、御意見を伺えればと思います。

竹口教科別調査部会「社会（公民）」部長 先ほどから話がありますが、多面的な見方という点でいきますと、色々な価値観、公と個の問題とか、確かにございます。どちらかに偏るのではなくて、どちらも意味があるということをちゃんと子どもたちはまず理解するということが必要だと思います。

その上で、常に答えが決まっているものではなくて、こういう時には公の部分もしっかり考えなければいけないねとか、こういった時には、個人の人権に、もう1回立ち戻って考えなければいけないなということを、先生方は多分授業の時に必ずやっていると思います。いかにそういう両方の広い視野で物を見ていくか、これが常に求められている。教科書の中にも、そういった視点が入っているということとはとても大事なことだというふうに思います。

安間教育長 他にございましょうか。

笠原委員 公民の授業の中で、実際にアクティビティをもった授業、例えばディベートをするとか、そういうことというのはどのくらい時間がかけられるのか、あるいは取組をするのかしないのか、教えていただければと思います。

竹口教科別調査部会「社会（公民）」部長 時数的な制限がございます。それから、3年生の後半で行いますので、入試の問題等もあります。そういった影響は常にやはり意識しながら教員はやっておりますが、特に公民の場合には、答えのない討論というところが非常に重要ですので、やはり單元ごとに、そういった機会を設ける教員が多いのではないかと思います。また、教科書自体も見てくださいと分かるように、それぞれの章とか單元ごとに、ではこれについて考え、話し合いをして

みようと、ディベートの活用等の場合もあれば、そうでない場合のものもあると思いますが、そういう話し合い活動というのは、以前の教科書に比べると非常に増えております。

ただ、それを全部は逆に言うと、教員としてはやりきれないかなと。年間の予定を見ながら単元ごとにとか、またテーマによっては、話し合っ、色々な意見をお互いクリアにすることが学習につながるのだというところで、こういった課題を持ったりすることはやっているというふうに思います。

安間教育長 よろしゅうございましょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 それでは、御質疑がないようでございますので、次の種目に移りたいと思います。

会議時間が長くなっておりますが、調査部会の先生方は学校にお戻りにならないので、大変恐縮ですが、このままもう1教科だけ延長させていただければと思いますが、よろしゅうございましょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 それでは、次の数学についての御準備、よろしくお願ひいたします。

それでは、数学について、調査部会から御報告をお願いします。

黒島教科別調査部会「数学」部長 それでは、数学について説明させていただきます。

八王子市の数学における生徒の実態を説明いたします。毎年実施されています文部科学省の第3学年全国学力・学習状況調査及び東京都教育委員会の第2学年学力向上を図るための調査では、いずれも全国、または東京都の平均正答率よりもやや低いという結果が出ています。八王子市は学校数が多いので、全国や都の平均正答率よりも高い学校もあれば低い学校もありますが、市内を平均すると平均正答率は全国よりもおよそ2.8%程度、東京都よりもおよそ4%程度低い結果と考えられます。

では、これから数学部会で作成した報告書について、各社の特徴や配慮希望などを説明いたします。報告書の内容が各社の特徴の一部を示していますが、調査の観点の項目に沿って、説明を補足してまいります。

まず、1、内容の(1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているかにつきまして、東京書籍、啓林館、数研出版、日本文教出版の4社は、補助発問や対話形式を活用したり、判断の根拠となる事柄を見いだしたりして、思考力・表現力・判断力を高める問題解決型の学習の場面が見られました。

学校図書と、教育出版は、身の回りの数学と実社会とのつながりの事例などを取り上げて、数学への意欲を刺激する学習の場面が見られました。内容の捉え方には各社とも特徴が見られます。

(2)の生徒の発達段階に対して配慮しているかにつきましては、小学校とのつながりに着目して見ますと、7社とも算数の振り返りのページを含んでいますが、その内容や量には少し差がありました。

大日本図書、教育出版、日本文教出版の3社は、復習問題の量が他社よりも少し多く掲載されていました。また、7社全てにおいて、3学年の関数の単元では、発展的な内容や実験形式を用いて、3年生に興味を持たせながら、考えさせる工夫が見られました。

続きまして2、構成上の工夫の(1)主体的・対話的で深い学びの実現に向け配慮しているかという学習指導要領の重要部分を反映した重点調査項目につきまして、1社ずつ簡単に各社の特徴を説明いたします。

東京書籍は、補助発問を手がかりに主体的に考えさせたり、「考えてみよう」と題して、対話的に互いの考えを共有できる課題が各単元、各節に配分されています。

大日本図書は、既習事項との関連を重視した導入や学習の目当てを設け、生活に密着した題材を取り上げることにより、主体的に学習できる工夫がされています。

学校図書は、各章の導入部分で、対話的な活動を促す工夫がなされ、また、身の回りの数学を取り上げ、数学への興味関心を高めることで主体的な学習が促進されています。

教育出版は、興味を持って主体的に取り組める数学パズルがあり、全体的には生徒と教員の対話を意識した教材構成になっています。

啓林館は、各章の「学習の扉」で、身近な事柄から主体的に学び、「話し合おう」「説明しよう」の項目で主体的・対話的な場面が設けられています。

数研出版は、問題解決に向かう姿をキャラクターたちの対話形式で掲載し、生徒が主体的・対話的に学習していく工夫がなされています。また、探究用の別冊が用意され、深い学びにつなげています。

日本文教出版は、ワークシートを用意し、問題解決に向けて互いの考えを出し合いながら対話的な活動がしやすい工夫がなされています。

次に、2、構成、分量等についてですが、例題の数と練習問題の数を全社、全ページについて調べてみました。すると、2社について特徴が見られました。全学年で例題の数が一番多いのは日本文教出版で、練習問題の数と合わせても7社中一番多い数でした。大日本図書は、例題の数が全学年とも一番少なかったのですが、練習問題の数は全学年とも一番多かったです。

この2社については、例題の数が一番多い日本文教出版は参考書的な要素を持ち合わせ、練習問題の数が一番多い大日本図書は問題集的な要素を持ち合わせていると考えることができます。

その他の5社については、例題の数と練習問題の数が一定程度あり、バランスよく構成されています。

続きまして、3、情報活用能力の一定に関する配慮をしているかの(1)生徒の情報活用能力を育む構成となっているかについてですが、情報活用能力に関しては、1学年の7章、データの活用の単元に着目して比較してみました。7社とも様々な内容のデータの記録を活用して学習している点では、差異はありませんでした。

その他の部分では、東京書籍、数研出版、日本文教出版の3社が、新規の学習内容である2学年の箱ひげ図での解説が分かりやすい表現でありました。

次に、(2)生徒一人ひとりがコンピューターを活用できる工夫がされているかについては、7社ともQRコードでデジタル教材にリンクさせていました。コンピューターを使って様々な学習コンテンツが活用できる点では差異はありませんでしたが、啓林館と数研出版の2社は、デジタルコンテンツに力を入れているように感じました。

続きまして、4、使用上の便宜の(1)教員にとって使いやすくするための配慮はされているかについてですが、これは統一した見解を述べるのは難しいです。その理由は、各単元の導入時の進め方や内容を解説する方法や流れについては、教員

にも個人差があるためです。例えば、1学年の正負の数の計算で、マイナス掛けるマイナスがプラスになる解説や、3学年の二次方程式の解き方で、平方根の利用が先か、因数分解の利用が先かの違いがあります。

やりやすさについては、教える教員によって意見が分かれるところです。また、経験年数の多い教員と、新人の教員でも例題の解説1つを取っても使いやすさに差があると思います。

いずれにしても、ほとんどの教員が共通して考えることは以下の3点だと考えます。

1点目は、導入部分で、身近な題材を使い、生徒の興味関心を引きやすい内容になっているもの。

2点目は、既習事項の確認がしやすいもの。

3点目は、それぞれの学習内容について、解説や問題数の情報量が適しているもの。

これら3つを観点として考えた場合、7社ともそれぞれの特徴があり、どれも教員の工夫次第で扱いやすさに大きな差異はないと考えます。

次に、(2)生徒にとって読みやすい表現であるかについては、2つの観点で考えます。

1つ目は、各学習内容のポイントが取り組みやすい工夫がなされているか。

2つ目は、学習する際の視覚的な工夫がなされているかの2点です。この2点に着目すると、1点目の取り組みやすいポイントに工夫が見られるのが東京書籍、学校図書、教育出版の3社です。

2点目の視覚的な工夫が見られるのが、大日本図書、啓林館、数研出版、日本文教出版の4社です。しかしながら、こちらも扱う教員の指導の仕方次第ですので、この観点での大きな差異はないと考えます。

最後に、5、その他、スマートフォンやSNS、SDGs、東京2020オリンピック・パラリンピックの三点についてですが、報告書にも記載したとおり、7社とも様々な題材を使い、視点で先ほどの3点に関連する内容を扱っています。

以上、調査の観点に沿って報告させていただきました。これで数学部会の説明を終了いたします。

安間教育長 只今、調査部会の報告は終わりました。

それでは、数学についての御質疑をここで継続して行いたいと思います。

まず、私のほうから。八王子の数学の先生方は、どんな教科書が使いやすいという御希望をお持ちでしょうか。また、保護者の方から数学の教科書について、こんな方がいいのではないかなど御意見があったら、そういうエピソードがもしありましたら御紹介ください。

黒島教科別調査部会「数学」部長 先生方に関しては、自分の学校の教員や、今回の調査部会の部員に色々尋ねる機会もありましたけれども、それぞれの感じ方が違いますけれども、やはり使いやすい教科書というのは例題がしっかりしていること。それから、問題数などの情報量が多過ぎず、少な過ぎずではないかなという声が多いです。保護者に関しては、特段の意見はありませんが、今まで聞いた中では、最近の教科書は大分カラフルになりましたね、見やすくなりましたねという意見は伺ったことがあります。

以上です。

安間教育長 ありがとうございます。

もう1点、G I G Aスクール構想の実現に向けて効果的と思われる教科書というのは、例えばどんな特徴があればいいのでしょうか。事務局のほうでお考えがあればお聞かせください。

木村指導課指導主事 数学の学習内容には、立体やグラフなど、教科書の紙面だけでは伝えることが難しい内容が多くあります。これまでは、先生が黒板に図を掲示して口頭で説明するなどして指導してきたのですが、それを補うコンテンツとして、生徒が画面を触って動かせるシミュレーションやアニメによる解説、作図の方法の動画などがQRコードでアクセスできるサイトが用意されています。また、単元のまとめで扱う問題の解説を見ることができる教科書もあります。自主的に課題を進めることへの活用なども想定されますので、こうした活用をしやすい様々なコンテンツが用意された教科書が効果的だと考えます。

安間教育長 ありがとうございます。

それでは、委員の方から御質疑ございませんか。

伊東委員 説明をありがとうございました。

御説明の中でもたくさん出てきたのですけれども、改めて確認をしたいのですけれども、また数学は、子どもたちが一体何のために学ぶのかということを非常に考えてしまうという教科だと思っんですね。ですから、そういう意味で、学びの本質とか、分かりやすい言い方をすると、日常生活と学習内容とのつながりみたいなものが非常に意識されて、新しい学習指導要領でもそのことは示す必要だというふうに示されていると思いますので、そういったことを先ほど多くの出版社がどういう工夫で、そういったことをやられていてというふうに御説明があったのですけれども、その中でも特に何か調査をされて、こういった教科書がいいなというようなはありましたら、教えていただきたいということが1点。

もう1点は、多くの学校が数学の場合、習熟度別少人数指導をしていますので、そういった習熟度別少人数指導に合うような教科書というのがあるのかどうなのかというのを教えていただきたいと思います。

黒島教科別調査部会「数学」部長 1点目に関しては、やはり数学的な考え方を養うというのが目標ですので、単純な計算だけではなく、やはり色々な条件、その時のことを色々組み合わせながら、結論に至る、それをどう組み合わせられるかというのが、数学の醍醐味でもあり、本質なのですけれども、中学校の数学では、そこまであまり複雑なものはありませんので、やはり半分は計算力、半分は思考力と3年間ではなると思います。そういう点では、どの教科書もそれぞれの工夫がありますので、この教科書はちょっとなというのは、1冊もありませんでした。

それから、少人数指導を各校やっておりますけれども、これは少人数の分け方であるとか、指導の方法によるところが多いので、教科書について少人数でやりやすい、やりにくいはないと思っています。

以上です。

安間教育長 他にございましょうか。

柴田委員 現在のようなコロナ禍の中で、ちょっと学習の進捗状況が遅れていたり、その分家庭学習で補わなければならないという状況があるかと思うのですが、そういった場合、子どもたちが家庭学習で使いやすい教科書というものはどのようなものでしょうか。

黒島教科別調査部会「数学」部長 やはり子どもたちが学習する時の自学、一人で学

習する時に、一番頼りになるのは教科書の例題の解説だと思います。その例題の解説が、やはりより丁寧に示されているほうが、子どもたちは学習しやすいと考えています。

以上です。

安間教育長 他にございましょうか。

笠原委員 私は昔から勉強が苦手だったので、数学の分野、先生方にしてみたらきつこの教科書はどれも使いやすいのかもしれませんが、苦手な子どもにとっては、多分とても分かりにくい部分があると思います。先生方の御経験の中で教えていただければと思うのですが、中学生が数学でつまずきやすい分野といたしますか、ポイントとか、もしあれば教えていただきたいのですが。

黒島教科別調査部会「数学」部長 つまずきやすい箇所は、本当に生徒個々によって差があります。まず、中学に入って、正負の数の計算に入りますが、これは小学校でやっている複雑な分数の計算よりはるかに簡単です。なので、数パートは順調にいく子が多いのですが、そこから、第一の関門は文字式になっているんですね。文字が出た時にそれが今までの学習とつなげられるかどうかは1つ、つまずきどころかだと思います。

あとは、例えば、2年生の図形の証明のところで、定理やその他は分かるのだけれども、それを組み合わせて説明し、証明するというのが苦手であるという子もいますので、それはどの辺がつまずきやすいかは教員が想定して、それを頭に入れながら授業をやるのが本来の姿ですので、その辺は残念ながら教員の経験や力量に差が出るところですが、それをやはり教科書の例題や説明が補ってくればよいかなと考えています。

以上です。

安間教育長 他にございましょうか。

川島委員 本当に丁寧な御説明ありがとうございます。

小学校の算数から数学というふうになっていって、今、笠原先生がおっしゃったように、そのところ、まず入り口の名前の変更だけで、つまずいてしまうイメージもあるかと思うのですが、あとは、例えば定理ですとか、例えば、公式ですとか、少し固いイメージといたしますか、そういうところがだんだん増えてくるのも

現実的なところかなと思います。

実際に、定理、公式等に関しましては、教科書の中で大分丁寧な説明をされていて、定理のところとか、持ってきているかとは思うのですが、そんな中で、そういう説明に特徴的な、こういうところがよかったなという特徴がある会社があれば教えていただければと思います。

黒島教科別調査部会「数学」部長 教科書ごとに個々に特徴というのはあまり見受けられませんでしたけれども、例えば、正負の先ほどのマイナス掛けるマイナスがプラスになるの表現でも、単純に数字の羅列で説明している教科書もあれば、人が東へ動く、西へ動く、何分後に動く等の子どもたちがイメージしやすいものでされている教科書とかもあって、その辺の違いはあったりします。

それから、3年生の二次方程式で因数分解、平方根、どちらが先に教えるのかというところでも、これは教員によっても差があるのですが、子どもたちによっても、こっちのほうが分かりやすかった、こっちのほうが分かりやすかったというのは個々に差がありますので、それは、差はしょうがないので、それを埋める授業を教員がやるべきものなので、我々のほうの努力も必要かなと思っています。

安間教育長 他にございましょうか。

他はよろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 それでは、御質疑もないようでございますので、次回までに御意見をまとめておいていただきたいと思います。

安間教育長 大変長時間になり、失礼いたしました。

それでは、ここで暫時休憩にいたしたいと思います。再開は1時10分とさせていただきます。

それでは、暫時休憩にさせていただきます。

【午後12時14分休憩】

【午後1時10分再開】

安間教育長 それでは、休憩前に引き続き協議を再開いたします。

次の種目に移ります。理科について、調査部会から報告をお願いします。

中嶋教科別調査会「理科」部長 では、本日、次の3点について御報告をさせていただきます。

1、八王子市の生徒の理科に対する実態について。2、教科書採択に関するアンケートや保護者からの声について。3、調査本部から、特に報告しておきたい部分についての、以上3点についてです。

まず、生徒の理科に対する実態についてですが、自然に対する興味関心があり、実験や観察には意欲的に取り組みます。しかし、思考力・判断力・表現力は低い傾向があると捉えています。昨年度の都学力調査でも、実験結果を正しく読み取り解釈する問題の正答率の低さ、それからも見られるということです。

また、色々な地域がある八王子市ですが、比較的豊かな自然に囲まれているので、昨年度行われた中学生サミットでも、この豊かな自然を八王子の特色として捉えています。ただし、この自然の中での体験が学習に結びつけられていない生徒が多く見られると、理科の教員では話をしています。

次に、教科書採択に関するアンケートや保護者からの声についてです。アンケートや多くの保護者から、今回は、学校運営協議会とか、あるいは昨年度の保護者の中からの話にもありますが、内容は分からないが、大きさや重さについての御意見が今回ありました。生徒たちにとって、写真や図が見やすい横長のもの、特に重さを軽くしてほしいという要望が強くあります。前回に比べ、どの教科書も教科書の大きさや重さについて、非常に工夫をして軽くするようにはしています。

他には、八王子の生徒たちの実態に合った、興味関心を引く教科書や、今の新型コロナウイルスのことを踏まえ、自宅学習ができるQRコード等が掲載されている教科書というふうな声も上がっています。

最後に、調査報告書から特に報告しておきたいことについてです。今回の学習指導要領では、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業の改善が必要になっています。習得、活用、探究という学びの課程で、理科の見方、考え方を働かせ、深い学びになる構成をどの教科書も行い、工夫をしています。

共通している工夫として、1、生徒が分かりやすい、主体的・対話的な学びの学習課程の説明、そして2、生徒の探究算数につながる疑問や葛藤を感じる問いかけ、3、生徒が興味・関心を持つコラム等、4、生徒が対話的な学びをできる工夫、5、

生徒が各単元末に探究につながる活動について、どの教科書会社も工夫をしています。

その中でも、特に特徴的な内容について触れさせていただきます。

東京書籍です。各単元の学習課程の導入部分の「レッツスタート」で興味・関心を持たせ、問いかけを行って主体性を高める工夫をしています。また生徒の活動の部分に理科の見方、考え方のヒントを示し、最後に既習学習と日常生活、社会に結びつけて新たな問題を見い出して学びが深まる工夫がされています。教員の発問や具現がしやすいつくりになっていると思います。

大日本図書です。観察・実験を中心とした探究の課程で、生徒が主体的に学べるように活動手順が簡潔に分かりやすく書かれています。観察・実験のタイトルに理科の考え方が示されていますが、理科の見方が柔軟になっています。また学習内容と日常生活を関連づけたプランが充実しているのも特徴です。すっきりした書き方なので、教員も分かりやすく、コラムが充実しているので、発問や深い学びに結びつきやすいと捉えています。

学校図書です。各章の巻頭部分で3つの資質導入、知識技能、思考力、判断力、表現力の学びに向かう力の部分の3点が生徒にも分かりやすく示されており、観察・実験において、この3点が定着するように工夫されています。1時間ごとの課題に対して、理科の見方、考え方が参考として示されているので、分かりやすいのが特徴です。

教育出版です。巻頭の身近な事象で興味・関心を引き、主体的に疑問を見つけさせ、課題を見つける工夫がされています。探究の課程のキャラクターの発言にヒントとして理科の見方、考え方が示されています。学習の前後で学習を通した自身の成長を促せる工夫を行い、探究の進め方が折り込みでいつでも参照できるようになっています。

啓林館です。各単元の導入写真が一覧的で興味・関心を引きます。キャラクターの発言にヒントとして理科の見方、考え方が示され、探究の流れと探究の振り返りを学ぶことによって、探究が課題解決に向かう方向に進んでいるか検証でき、分かりやすいと思います。また、各4単元に1つ探究シートがあり、主体的・対話的な学びができ、教員が扱いやすいかということがあります。学習の後に最初の問いを

再考させ、自身の成長のメタ認知を促せる工夫もあります。

以上で説明は終わります。

安間教育長　　只今、調査部会からの報告が終わりました。

理科についての御質疑を頂きたいと思います。

まず冒頭私のほうから。今も若干触れていただいたのですが、八王子の先生方にとって理科の授業を先生方が実際に行う上で、やりやすい教科書、こういうものがあるのだという、そんなお声を聞いたことがありますか。また、保護者で、理科の教科書はこういうものがあるねとか、声を聞いたことがあったら聞かせてください。

中嶋教科別調査会「理科」部長　先生方から聞いたお話の中では、やはり実験とか観察を行ったその後にすぐにその結果が分かってしまうのではなくて、生徒たちが興味・関心を持って課題に取り組んで、課題が出た時に、仮説や予想がしやすいというものがあるのではないかというものがあります。

そのためにも、やはり教科書自体が、資料集がなくても、よい図や写真が多くあって、子どもたちがそれに興味・関心を持って、どうなっているのかな、なぜかなというふうに、心の底から興味・関心を持てる題材、そういうものが工夫されているもの。それともう1つは、自宅で自分で教科書を読んで、復習できるような文章が短く説明が分かりやすい、適度な練習問題があるもの。それと、最初に話をしていたが、八王子にある自然、その自然には触れてはいるんだけど、それが学校の勉強と学習と結びついていかない、その部分がうまく結びつけるようなものの教科書があるといいなというふうに先生方はお話ししていました。

それから、保護者からの声なんですけれども、やはり先ほども冒頭も話をしましたが、教科書の形状、重さ、それについては話がありました。ただし中身については、やはり子どもたちが見た時に興味・関心を引くような写真とか、題材が載っているものがよりいいなというふうな話があります。

以上です。

安間教育長　　ありがとうございます。

もう1つ事務局のほうにもお願いしたいんですが、今後のGIGAスクール構想を実現していく上で、こんな教科書のほうが効果的だ、そんな特徴があったら紹介

してください。

木村指導課指導主事　QRコードのコンテンツとして、実験器具の使い方の動画や、考察の仕方の説明、学習内容の確認、映像資料、そして科学館等の施設へのリンクなどが用意されています。特に映像資料については、教師が実際に見せて指導することで、生徒の理解が深まることが期待されます。実験の前に予習することや、単元の終わりに視聴することなど、活用ができるコンテンツが用意された教科書は効果的だと考えます。

安間教育長　ありがとうございました。

それでは、委員の方々から御質疑はございませんか。

笠原委員　御説明ありがとうございました。

理科の授業の中で、実際に現在もQRコードを使って先生方は何か教材としてやるということは、もう行われているのでしょうか。今はまだそういうことは行っていないのでしょうか。

本田教科別調査部会「理科」副部長　今現在はまだQRコードを使ってという授業はありませんけれども、各先生方が自身で動画を使ったり、または学校によってはWEB会議ツールを使って授業をやったりして行っているところもあります。

安間教育長　他にございませんか。

川島委員　御説明ありがとうございます。

理科のような自然科学に関しては、かなり自分の身の回りの生活と直結している部分が多いかと思うのですね。その導入部分で工夫が見られるのはどういうところがあるのかということと、あと先ほど八王子の豊かな自然をうまく活用できていないというお話があって、活用できる教科書が望まれるというお話もありましたけれども、そういう活用をしやすい、例えば、具体的なこういうのがあったらいいなというのは、もし案があったら教えていただけたらなと思います。

中嶋教科別調査会「理科」部長　まず1つ目ですけれども、日常生活にやはり密接した課題というものが出てくる教科書ということですが、やはり初めのところの「レッツトライ」とかというところでは日常生活の、例えば、今身近でいうと、オリンピックがあるとすると、そのオリンピックの金属について、その密度について調べると、何の金属だか分かるのでというような内容のものとか、あるいは防災とか、

そういうものが出てきますので、実際にこういうふうな震災がありました、それについて、ではどういうふうに対応しましょうという形で、本当に今の時代に関わっているコラムというものが掲載されていると思います。

では次、2点目についてです。八王子の自然についてということで、実際に八王子市が題材に載っているものというのは、なかなかここに書いてあるとあり、資料に掲載させていただきましたが、あまりすごく数が多いというわけではありません。ただ、コンテンツで、例えば高尾山の博物館のほうにつながっているものというものもあります。ですので、教科書だけではなく、今はWEBとか、そういうものでも八王子にうまくつながっているものがあるといいのかなと思います。すごく豊かな自然があるので、高尾山とか、そういうものについても特徴がかなりありますから、植物とか、そういうものについてもうまくつながれるものがあると、とてもすばらしいなというふうに私は感じました。今のところ、どの教科書が八王子の自然に対して理科にうまくつながっているのかというのは、すみませんが難しいかなというふうに思っています。

以上です。

伊東委員 御説明ありがとうございました。

一般的に小学生は理科がとても好きで、中学生になると理科が嫌いな子どもが増えてしまっている状況があると思います。一般的にそう言われていると思います。そういったことを極力なくしていきたいわけですが、それにはどういう教科書がいいか、何かそういったことに関して、理科の先生方から御意見等ありますでしょうか。

中嶋教科別調査会「理科」部長 やはり小学生と中学生、アンケートなどでも、中学生の理科に興味・関心が少ないというのはすごくあって、全国的にも出ているものですが、最初に興味・関心をどういうふう子どもたちに持たせて、そこから自分で、これ知りたいな、関わりたいなというふうに思わせる、その工夫が一番大きいのかなと思います。子どもたちがやはり心からびっくりした、驚いたとか、そういう感性、その部分をうまく引き出す教科書というものがいいのではないかと考えています。

以上です。

伊東委員 ありがとうございます。

理科の学習は、大きく分けると2種類あると思うのですが、1つは全く答えが分からないものを、みんなで考えながら答えを見いだす学習と、ただ、理科の場合はもう既に答えが分かっているのだけれども、それに関して子どもたちが色々調べて、答えを導き出す問題解決学習なんですけれども、そうすると後者のほうは、途中で僕は興味・関心を失ってしまう部分があるのですが、先ほど御説明の中にあっただと思うのですが、この教科書だったら子どもたちの興味・関心をずっと追求が得られるというものを最後まで継続できる、そういうつくりになっている、そういう教科書はありましたでしょうか。

中嶋教科別調査会「理科」部長 今回の改訂自体が、その部分をやはり非常に重視しているものなので、5社ともそこについては、キャラクターに色々なコメントをさせたり、あるいは補助資料ではないけれども、横に理科の見方とかがついていたりとかしているのです、その部分については5社とも非常に工夫をしていると思います。

以上です。

安間教育長 他にございましょうか。

柴田委員 御説明ありがとうございました。

先ほどの御説明の中で、何社かメタ認知を促すものがあると説明を受けたのですが、このメタ認知を促すまでに子どもの探究心というものを引き上げていくような工夫が見られるという教科書の内容というのは、例えばどういうものがあるのでしょうか。

中嶋教科別調査会「理科」部長 初めに、課題の提供のところ、例えば図とか写真とかで、身近なもので課題設定をさせます。その後、子どもたちで予想を立てさせて、実験、観察をさせるのですが、その後、子どもたちの中で、やはり考察、考えて、この結果から何が言えるのかという時に、子どもたち同士で話し合いをするという場面がやっぱりあるのです。今は対話的な学習ということで、その部分がすごく重要視されているのですが、そこではやり子どもたちが色々な考えを言い合うことによって学び合う。その時の助言というか、なかなか詰まってしまう時に、その教科書のページを見ているところに、うまく助言が出てくるというよ

うな形の工夫ですね。

さらに、ではそこで結果が出てきたら、さらに探究するというふうなものが、やはりどの教科書にも出ているので、そこからさらに探究させていく課題が載っているというふうな形ですね。

5社とも、本当にその部分は工夫されていると思います。

以上です。

安間教育長 他にございましょうか。よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 それでは、他に御質疑がないようでございますので、次回までに御意見をまとめください。

安間教育長 それでは、次の種目に移ります。

それでは、音楽（一般）について、調査部会から御報告をお願いします。

畑野教科別調査部会「音楽」部長 それでは、音楽（一般）を説明させていただきます。

まず初めに、八王子市の生徒の音楽に対する実態ということでお話をします。各学校とも合唱祭や合唱コンクールなどの音楽行事に積極的に取り組む姿勢が見られます。また、部活動や吹奏楽が盛んで、音楽の授業を楽しみにしている生徒が大変多く、音楽に関心がある生徒が多いようです。

新学習指導要領の目的にある、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく機会を養うためのベースになる環境が整っております。

それでは次に、調査報告の内容について具体的に補足する点について報告します。出版会社は教育芸術社と教育出版の2社です。

まずは教育芸術社です。内容については、表現、鑑賞と適切に網羅されています。発声のときのマイボイスでは、発声の基本や変声期から始まり、学年ごとに息の流れや表現に必要な声の響かせ方が示されています。指揮では1年生で4拍子まで、2、3年生では6拍子の振り方まで、学校行事を意識した発達段階に合わせています。鑑賞では、クラシック音楽、日本音楽から世界の民族音楽へと幅広く、音楽が

人々と関わる中で音楽文化として引き継がれていることが分かる扱いになっています。

創作のほうでは、マイメロディでは旋律と抑揚など、旋律と和声について、レッツクリエイイトではリズムやビート感について扱われ、旋律とビート、それぞれの役割について分かりやすく扱われています。

構成上の工夫については、主体的・対話的で深い学びに十分配慮され、発達段階にも配慮されています。各学年とも幾つかのワークシートがあり、具体的に何を話し合い、その結果を示し、発表しやすく工夫されています。2、3年生では、曲を自らプレゼンする場面があり、主体的で深い学びへの工夫が見られます。情報活用能力の育成については、より深い学びへの参考資料として、QRコードが裏表紙のところに載っています。それと、あと資料がある単元のところにも同じものが載っております。

使用上の便宜では、曲数が豊富で、中でも昨年、一昨年、音楽の全体会、中学校の合唱指導の研修で作曲家御自身が指導のポイントを講演した曲が入っております。後半の合唱部分のページは白地に黒の印刷で見やすく、全体を通して明るい色遣いで見やすくなっています。また、各単元に目当てと、それを達成するための助言が分かりやすく掲載されています。目次の次のページでは、来年度からの3観点に合わせて、各単元でどの観点について学ぶのかを分かりやすい表にまとめています。

その他では、表紙では現代風のアニメにし、ページを開いた巻頭では現代の音楽家や評論家などのコメントがあり、教科書全体で日本における現代の音楽とは何か、音楽文化とは何かを学ぶということが伝わってくる教科書になっています。

次に教育出版です。内容については表現、鑑賞と適切に網羅されています。1年生では歌うための準備、変声についてと分かりやすく説明され、声を出すことへの不安感を取り除くように配慮されています。2、3年生では声を正しく出すことから、旋律の表現方法とつながっていきます。1年生はまずは歌うこと。2年生で指揮について触れ、発達段階に合った配慮がされています。

鑑賞ではクラシック音楽、日本音楽から世界の民族音楽へと幅広く扱われている中で、特に特徴的なのはアジアの国々の民族音楽との関連が丁寧に取り上げられています。創作では1年生で旋律、2年生でリズム、3年生では地域の名物、名称を

紹介するCMソングをつくってみようということで、具体的なテーマの下、地域性も配慮されています。構成上の工夫については、主体的・対話的で、深い学びに十分に配慮され、発達段階に配慮されています。話し合おうではワークシートが用意され、話し合い活動がやりやすいようになっていたり、また、「進んで学ぼうアクティブ」というサブタイトルがある単元では、深い学びへの意識を持たせるようになっています。情報活用能力の育成については、より深い学びへの参考資料としてQRコードが目次の右下に載っています。巻頭の見開きで、1年生は夏の森で、2年生は浜辺の歌、早春賦、3年生では花の歌詞とカラー写真が掲載され、楽曲を指導する際のイメージづくりがしやすい工夫がされています。全体的に目に優しい色遣いになっています。

目次の次のページでは、各単元で学ぶ音楽の要素について円グラフを用いて分かりやすく示しています。その他で巻頭の日本の古くからの歌の歌詞と写真と、それからあとはシューベルト、ベートベン、滝廉太郎の過去の有名な音楽家の言葉や生い立ちなど掲載がされ、天才と言われる音楽家たちも様々な物語があるのだと、過去から現代につながっているという視点が感じられるようになっています。

以上で説明を終わります。

安間教育長 只今、調査部会の報告は終わりました、

音楽（一般）について、これから協議を進めたいと思いますが、まず私のほうから。八王子の音楽の先生方というのは、どんな音楽の教科書が子どもたちにとって良い効果があるとお考えなのか。エピソードがあればお聞かせください。また、保護者の方々が音楽の教科書を見られた感想などを聞いたことがあったら教えてください。

畑野教科別調査部会「音楽」部長 八王子の先生方は若手の先生方がかなり多いのですが、皆様、大変研究熱心で、自主的に講師派遣などにも参加していただいております。そんな中で、より教材研究がしやすい、そこから子どもたちにさらに専門性の高い音楽を指導できる、要するにきっかけがつかみやすい教科書といいましょうか、専門的なところへつなげられるヒントになっている教科書、そういう教科書が使いやすいかなという声を聞いています。

それから、教科書が2社ありますけれども、ぱっと見た感じだと、どこが違うか

よく分かりづらいという話がありますが、ただ、こんな声も聞きました。やっぱり音楽のイメージとして、やっぱり各行事、合唱コンクールや、卒業式、入学式などで中学生が歌っている姿、あと音楽室から漏れ聞こえる日本の昔からの曲、歌声、そういうものがかなり印象的だということは聞きます。

そのことから、教科書を見て、思わず歌いたくなる、そういう教科書がよいのではないかという声を聞いたことがあります。

安間教育長 関連して、各学校は、合唱コンクールに力を入れて一所懸命やっていますが、教科書と別個に歌集みたいなものは必ず買うのですか。

畑野教科別調査部会「音楽」部長 今、大体どの学校も合唱曲集というものを副教材として持っています。

安間教育長 副教材は、保護者負担の話になってしまって、もしそうだとするのならば、この教科書図書の第3章だとか、広く使っているような曲がいっぱい載っていれば、そういったプラスアルファの負担はしなくて済むという考え方というのは間違っていますか。

畑野教科別調査部会「音楽」部長 一緒にすることが可能であれば、そのほうが良いとは思いますが、実際に合唱曲数は、1年生から3年生まで使えるように合唱レベルも幅広く、曲数も約70、80曲くらい載っているのでしょうか。教科書にそれを載せるということになると、相当分厚いものになって、教科書会社もなかなか曲数を教科書でそろえるということが、かなり負担なのかなというふうに思います。

安間教育長 分かりました。私みたいな者はそう考えるのですが、対応する会社がまだ2社しかなくて、そういうことをやる会社がないということは、やっぱり何か課題があるのでしょうか。

もう1点、今度は事務局にお伺いしますけれども、今後のGIGAスクール構想に向けて音楽の教科書、どんな特徴があったらいいかなとお考えですか。

木村指導課指導主事 教科書のQRコードコンテンツとしては、歌や合唱のパートごとの手本、演奏などを視聴するコンテンツがあります。また、作曲家等の情報を載せたページを用意している教科書もあります。効果的と思われる教科書として、生徒が授業や家庭学習で必要な時に繰り返し視聴することができるコンテンツが用意されているとよいと考えます。

安間教育長　それでは、各委員の方々から御質疑はございますか。

伊東委員　御説明ありがとうございました。

音楽は、小学校の音楽の場合ですと、中学生と具体的にどんな違いとか、教育活動を進める上でその違いというものを教えていただいて、そういう違いがあるから、こういった教科書が必要であるというようなところですね。それを教えていただくとありがたいなと思います。

畑野教科別調査部会「音楽」部長　まず一番大きな違いとして、小学生の声と、中学生、1年生は変声期、声変わりがあります。男子は顕著ですけれども、女子の声もやっぱり変わっていきますので、当然音域の違いによって歌える曲も変わっていきます。それから、男子の声が低くなることによって、小学校までは同声2部くらいのもので、中学3年くらいになると混声4部合唱というような形で、変わっていくという、歌唱のところでは、一番そこが大きいかなと。他は鑑賞とかも、やっぱり聞いてインパクトが強くぱっと分かる曲から、だんだん例えばブルタバという「モルダウの流れ」というのがありますけれども、やっぱり社会背景とか何かを考えながら鑑賞しなければいけないという中学生の段階、という形で、小学校から中学校はやっぱり発達段階に合わせてレベルが変わっていているという感じになります。

安間教育長　他にございませんか。

笠原委員　御説明ありがとうございます。

八王子の子どもたちは、音楽の授業に関心があるということですね。最近の教科書はどちらもですけれども、雅楽というか日本の音楽にも随分しっかりと力が入っているようなのですが、その辺りは実際の御指導のやり方とか、それから事前にこういうものを見たり聞いたり触ったりできるのか、その辺りを教えていただければと思います。

畑野教科別調査部会「音楽」部長　まず、楽器そのものがあまり一般的なものではなく、結構1つひとつが高価なものなので、学校でその数をそろえるということがかなり難しいです。それから、日本楽器のやはりチューニング、音を合わせるというのが、いわゆる西洋楽器に比べると非常に難しいということがあります。そんな中で割とそういうところの条件を満たせるものとしては琴とか、和太鼓とか、その辺りが割と扱いやすく、割とどの学校でも扱います。

柴田委員　音楽が暮らしの中にあると、生涯学習の素材にもなり、本当に豊かな生活が送れると思います。そうした中で、一生涯、音楽を演奏しなくても鑑賞する、音楽を楽しむという意味で学習を続けていく上で、必要な要素が盛り込まれている教科書というのは、どういうところにあるとお考えでしょうか。

畑野教科別調査部会「音楽」部長　やはり幅広い音楽をこの段階では扱っている、それから曲数が豊富というところだと思います。子どもたちが歌ったり聞いたりする選択肢の幅が多い教科書のほうが、その後、例えば、日本の音楽、民謡がよいなと思う子もいるかもしれませんが、クラシック音楽、バイオリンのほうがよいなとか思うのかもしれませんが、そういう意味で教科書としては、とにかく幅広い扱い、曲数が豊富で選択肢があるほうがよいかなというふうに思っています。

川島委員　御説明ありがとうございます。1点教えていただきたいのですが、音楽というのは、その土地ですとか、国ですとか、文化を知る上で重要な手がかりになるかと思うのですね。冒頭の御説明でもありましたけれども、具体的にどんなところに結びつきが分かるような部分があるのかどうかというのを、教えていただけたらなと思います。

畑野教科別調査部会「音楽」部長　まず、日本のところでいくと、教科書の中で郷土民謡などの扱いがあります。例えば、「江戸木遣り」とか、そういうところから東京に焦点を当てて、さらに、そこから指導者の指導力次第で八王子にまで落とすことができるのかなと思います。

それから、西洋音楽については、先ほどお話ししましたけれども、例えば、「モルダウ」、社会とのカリキュラムマネジメントの形で、その背景を知ることによって、その国を知ることにもできると思います。その他、世界にはそれぞれ色々な民族音楽がありますので、教科書の中では写真や音源を実際に聞いて、それぞれ子どもたちが持っているイメージを、そこを具体化させる、そういう教科書が望ましいのかなと思います。

安間教育長　他にございましょうか。よろしゅうございませうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長　それでは、次回までにご意見をまとめていただければと思います。

安間教育長 それでは、続きまして、次の種目、「音楽（器楽合奏）」こちらについて調査部会から御報告をお願いします。

畑野教科別調査部会「音楽」部長 それでは、音楽（器楽合奏）に移ります。

八王子の生徒の音楽に関する実態は、音楽（一般）で話したのと同様なので、調査報告の内容について具体的に補足する点について、御報告します。出版会社は音楽（一般）と同様、教育芸術社と教育出版の2社です。

まず教育芸術社です。内容については、リコーダーに始まり和楽器やギター、打楽器と幅広く網羅され、楽曲に関してもアンサンブルを中心に様々なジャンルの音楽が用意されています。

リコーダーでは、基本的な知識や構え、表現力に必要なアーティキュレーションまで掲載され、技能と表現について、同時にスモールステップで進められています。巻末には運指表があり、指のポジションが自分で分かるようになっています。ギターでは、初めにギターの種類などの基本的な知識があり、現在の一般的な奏法のストローク奏法から始まります。巻末にはコード表の図があり、どこのポジションを押さえるのか分かりやすく示されています。

次に、和楽器に入り、まずは琴の奏法は写真を使って立体的な角度から詳しく示され、日本古来よりなじみのある楽曲の楽譜が掲載されています。三味線、和太鼓、篠笛、尺八も同様な形式で示され、まとめの資料で日本音楽の楽器編成について、日本音楽のジャンルごとに表と写真で示されています。打楽器、バンドについて触れた後にアンサンブルの曲が豊富に取りそろえられています。

構成と工夫では、西洋楽器と和楽器におおむね分類され、サウンド感や音に対するイメージが分かりやすく構成されています。アンサンブルの曲集では同族楽器とアンサンブルのほか、和楽器においても他の種類の楽器とのアンサンブルなど、主体的・対話的で深い学びへの配慮がされています。巻末では世界の楽器が写真で分類され、音楽のイメージが持てる構成になっています。

情報活用能力については、音楽（一般）と同様です。全体を通して明るい色遣いで見やすくなっています。楽器そのものの音色の魅力やアンサンブルをすることの楽しさが指導しやすく扱われています。アンサンブルのジャンルの幅、広さは生徒にとって選択肢が多く、指導者側としてもバリエーションを工夫しやすくなってい

ます。その他は音楽（一般）と同様で、表紙がアニメ風になっていて、ページを開いた巻頭部分に音楽家、評論家のコメントがあり、教科書全体が現代の日本音楽、日本音楽とは何かを学ぶようにまとめられた教科書になっています。

次に、教育出版です。内容については、リコーダーに始まり和楽器、ギターなどと幅広く、楽譜表に関してもアンサンブルを中心に様々なジャンルの音楽が用意されています。リコーダーでは優しい楽曲で技能を中心に上達できるように配慮され、最後にアーティキュレーションに触れ、表現力について学ぶようになっています。巻末には運指表があり、指のポジションが自分で分かるようになっています。その後、日本の管楽器として、篠笛、尺八と続き、弦楽器の理解、日本の弦楽器として琴、三味線と続き、最後に和太鼓が扱われています。和楽器の奏法は写真を使って立体的な角度から詳しく示され、日本古来のなじみの楽曲がたくさん掲載されています。ギターの運指についてもこの巻末に写真で示されています。アンサンブルの曲集ですが、同族楽器を中心に合わせやすい工夫で編集されています。

構成上の工夫では、基本的に弦楽器から管楽器の順番に楽器が登場しています。アンサンブルの曲集には同族楽器での楽曲が多いので、アンサンブルの初心者でも合わせやすくなってきます。情報活用能力については音楽（一般）と同じです。使用上の便利では、全体を通して優しい色遣いになっています。表紙をめくった巻頭で写真で様々な楽器が演奏者と一緒に提示され、また和楽器奏者からのコメントでは、日本人の心について語られ、器楽の導入部分を通して指導者が扱いやすいように工夫されています。その他、各楽器とも教科書全体を通して楽器、技能を中心に質問してくれ、分かりやすい展開にしていく教科書になっています。

以上で説明を終わります。

安間教育長　　只今、調査部会の報告は終わりました。音楽（器楽合奏）についての協議を始めたいと思います。

ほぼ御担当が同じなので、同じ質問になってしまいますね。事務局のほうもG I G A スクール構想の観点では何か、器楽だからという、そういうものはありますか。

木村指導課指導主事　　器楽合奏においては、QRコードのコンテンツとして、様々な楽器の演奏動画などが用意されています。これらを使用して楽器ごとの音色を聞き比べることとか、双方による音の違いについて理解するといった活動が想定されま

す。こうした活動がしやすいコンテンツが用意されている教科書は効果的だと考えます。

安間教育長 分かりました。みなさまに聞いても分からないかもしれないんですが、音楽の教科書の参入が2社しかないというのには、何か理由があるんですか。参入しにくいとか。音楽の教科書はそもそも発行するというか、つくるのが難しいとか、何かそういう課題があるのでしょうか。

木村指導課指導主事 以前、もう1社音楽の友社も入って3社だったのですけれどもね。

安間教育長 それを止めた理由は何か分からないですね。

それでは委員の方から何か御質問ございますか。

笠原委員 子どもたちが色々な楽器を触ることになるのですけれども、実際のプロの方や演奏できる方の演奏を見せていただけるとか、聞かせていただけるとか、そういう機会はあるのでしょうか。

畑野教科別調査部会「音楽」部長 各学校での地域の外部人材の活用ということになってきます。私も以前、音楽の教員だった時に、近所に、お琴をやっている先生がいらしたら実際に来てもらって、演奏してもらったりということもしましたが、これはそれぞれの持ち位置で、各学校での指導ということになるかと思います。

川島委員 楽器に関しては、何か1つやれたら本当に一生の宝になるというのはよく分かるので、自分自身は何もやれないので、すごく残念だと思っていますけれども。せっかくこういうふうに教科書のところで学習するのであれば、そういう何か1つ楽しめるものを見つけられたらよいなと思います。そういうきっかけになるような、何かとつきやすいといえますか、この楽器をちょっとやってみようという興味を引くような導入の方法、特徴的なのがあれば教えていただきたいなと思います。

畑野教科別調査部会「音楽」部長 やはり、小学校の頃からリコーダーをやっていますので、大体中学の器楽の授業の中心もやはりリコーダーとなってきます。子どもたちもやっぱりその辺がとつきやすいかなという感じです。

あとは、最近のJ-POPとか、ポピュラー音楽を聴いている関係もありますので、中には多少ギターの弾ける子もいますし、コードを押さえるのは指の大きさもあって、難しいことはあるのですが、押さえられてしまえば、あとは鳴らすだけで

すし、今の子どもたちは結構リズム感はよいので、そういう意味では授業の中で実際に楽曲を選択して、ギターを選んで、リコーダーとアンサンブルをしてみたり、その辺りは比較的とっつきやすい楽器なのかなと思います。

柴田委員 中学生だと、楽譜の読み方がほとんどのお子さんが大体分かるのかなというふうに思うのですけれども、よりスモールステップで曲を演奏していく時に、子どもたちが自主練習しやすい教科書というのは、どのようなものでしょうか。

畑野教科別調査部会「音楽」部長 楽譜が読めるといっても、やはり結構限られていますし、大体耳で聞いて覚えて歌ってしまうという、そんな感じが多いですので、やっぱり楽器も歌もそうなのですけれども、音源資料が豊富な教科書がよいのかなというふうに思います。

安間教育長 他にございましょうか。よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 それでは、次回までに御意見をまとめていただければと思います。。

安間教育長 それでは、次の種目に移ります。「美術（美術）」について協議をいたしたいと思います。

それでは、調査部会から御報告をお願いいたします。

市場教科別調査部会「美術」部長 美術部会の調査について報告いたします。

八王子市の中学生には、八王子が誇る豊かな自然や歴史、人々との関わりの中で感性を磨き、豊かな人間性を育む地域となる、そのために、美術教育が果たす役割は大変重要だと考えております。自然をはじめ、物事を見据える力、そこから多くのことを感じる力を育てなければならぬと考えております。その力は生涯によって描かれ、豊かな社会生活や豊かな人生へとつながっていくと信じております。この美術科としての目的を念頭に置き、特徴的なところを報告いたします。

1つ目です。新学習指導要領では重要視されている造形的な見方、考え方を育む、そのきっかけとなる教科書ができました。その意味で各社工夫されてきました。日本文教出版は、造形的な自然が日差しで示されて分かりやすく、意識しやすくなっています。開隆堂は学習のポイントが示され、造形的な見方を対話的な学びにつなげるものになっていました。各社資料の図案も大きく、日本文教出版、開隆堂はA

4サイズのワイド判になっていました。光村図書出版では、トレーシングペーパーを間に差し込み、鑑賞の中に透視図法という造形的な見方が掲載されていました。また、日本文教出版は、織り込みでページが用意されていました。そして各社ともQRコードが表示されて、来年度から生徒が1人1台タブレットを使用し、これまでにない新たな美術の学び方の広がりにつながるものであると思います。

2つ目です。各社とも学びの目標や評価について、単元ページのトップに示されています。生徒にとっても教師にとっても常に意識できる構成となっています。日本文教出版、開隆堂は、新学習指導要領である知識技能、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力という3つの目標に即して題材ごとに目標が分かりやすく明示されています。開隆堂と光村図書出版の2社は、2冊構成でありますから、発達段階に十分意識した教科書になっています。日本文教出版は、3部構成で、3年間使います。

3つ目です。私たち美術の教師が一番力を入れているところです。いかにして子どもたちの発想を引き出し、表現につなげるかに関してです。日本文教出版では、作家の発想方法を紹介し、発想や構造の手立てが示されています。開隆堂も発達段階に応じて作者や作家の言葉を多く掲載し、発想につなげやすくなっています。光村図書出版では、「表現・みんなの工夫」というページで、生徒の制作コメントから発想を引き出し、主体的に学べるように工夫されていました。日本文教出版、光村図書出版では、表現と鑑賞を関連づけることによって、発想につなげるように工夫されていました。開隆堂はあえて、鑑賞と学びを1つの章としてつなげて、統計的に学べるようにしているのが印象的でした。

その他、地域性については各社とも日本の伝統文化、伝統芸能に絡めて扱っています。違いとして、強いて挙げれば、日本文教出版には、八王子市のアーティストや市内の美術館が掲載されております。

以上で美術調査部会の報告を終わります。

安間教育長　　只今、調査部会の調査報告は終わりました。美術についての協議を進めたいと思います。

私のほうから。八王子の美術の先生方、美術の教科書というのをどういう位置づけでお考えになっていて、とそうすると、どういうものかという、そうい

う傾向はございますか。

市場教科別調査部会「美術」部長 30年近く美術の教員でありますので、人それぞれの捉え方もあると思うのですけれども、自分で單元ごとに選びながら、そこから教科書として、その要素が含まれているものを題材に使ってやっている、そう考えます。

安間教育長 保護者から何か美術のことで、教科書に関しての感想など、先生の立場で聞かれたことはありますか。

市場教科別調査部会「美術」部長 そういう声は入っておりません。

安間教育長 そうですか、分かりました。

事務局では、今後のGIGAスクール構想の実現に向けた効果的な美術の教科書といったら、どんな特徴が必要だとお考えですか。

木村指導課指導主事 美術においては、教科書に掲載されている立体作品を360度から鑑賞できるコンテンツや、教科書掲載以外の作品、作品の作者の紹介、または作品の所蔵先へのリンクなどが用意されています。また技法の解説動画が用意されている教科書もあり、生徒が授業内や家庭学習において、題材についてのイメージを広げることや、作品づくりに役立てるといった活用が想定されます。こうした様々な活用ができる教科書が効果的だと考えます。

安間教育長 美術館なり、そういうところに行って鑑賞するというのは物すごく大事なことですよね。ただ、そこまでの時間がないからというので、今言ったようなQRコードを読み込んで、画面上で見るということは、まず効果があるのですか。それと、もう1つそのことで、著作権が関わることはないのですか。知っている限りで結構です。

市場教科別調査部会「美術」部長 まず、著作権に関しては、私たちよりはるかに教科書会社のほうがきちんと対応されていると思っております。なので、学校で使うものに関しては全く問題ないと思っております。

活用については、これは先ほどちょっと触れたのですけれども、これからどんどん広がっていくと思っています。また教員も研究していくという、今そういう段階にあると思います。

安間教育長 分かりました。

それでは、各委員のほうから御質疑ございませんか。

柴田委員 御説明ありがとうございます。子どもの発想力をこの美術の時間に引き出す際に、教科書として多くの同じ年頃の子どもの面白い作品がたくさん載っているもののほうがよいのか、それとも抽象的な教材がたくさん載っているほうがよいのか、先生のお考えをお聞かせください。

市場教科別調査部会「美術」部長 今の御質問、両方の側面があると考えてございます。同年代の生徒作品からたくさん影響を受けるということもあるでしょうし、今世界のトップで活躍されている作家、または過去の偉大な作家から影響を受けることもあるので、私としては両方、その題材によって分けられると考えています。

伊東委員 御説明ありがとうございます。新しい学習指導要領では、カリキュラムのことが言われていますけれども、その中の1つの視点として、評価横断的な学びを推進しているというのがあったわけなのですが、例えば社会ですと、横断的な指導ができる場所ですけれども、そういった観点から考えて教科書を選んでいくとしたら、どういう教科書が有効かなというふうにお考えでしょうか。

市場教科別調査部会「美術」部長 まさしく修学旅行を前にして、修学旅行、センター学習に取り組んでいます。そこには美術史的なもの、また美術の作品だけでなく社会的なものだったり、社会も歴史も地理も含め、色々なことが混ざった形で、広い意味で非常にためになると聞いています。そういう中で教科書に、そういうジャンルが含まれているとか、年表ですとか、地図ですか、そういうものがあれば、使いやすいとは考えています。

川島委員 御説明ありがとうございます。1点お聞きしたいのは、技術の部分と座学の部分があるかと思うのですけれども、それがうまく連動して使いやすい教科書というのは、どのような教科書だとお考えでしょうか。

市場教科別調査部会「美術」部長 そのすみ分け、区分けというのはすごく難しく、双方向に関係してくると思うのですけれども、先ほど触れたのですけれども、どういう発想を出すか、感じただけじゃなくて、それを表現にどうつなげるかというのを、この接続部分がちょっと含まれていたほうが、私としては使いやすい教科書かなと思っています。

安間教育長 他にございましょうか。よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長　それでは、次回までに御意見をまとめていただきたいと思います。

それでは、次の種目に移りたいと思います。

安間教育長　それでは、「保健体育」について協議を始めたいと思います。まずは、調査部会から御報告をお願いします。

中村教科別調査部会「保健体育」部長　保健体育の教科書の調査報告を行います。

初めに、八王子市の生徒の実態についてです。調査部会から、ニュータウンの地域では教育への関心が高いため、発展的な内容を重視した教科書がふさわしいのではないかと。一方、地域によっては親しみや、イラストなどが多く使われて、興味・関心を引きつける内容が好まれる傾向にあることが分かりました。そこで八王子市の教科書は写真やイラストが多く使われ、発展的な課題のページが多い、主体的・対話的で深い学びにつなげる工夫ができていること、QRコードなど、外部リンクが充実したものが適切だと調査を始めました。

全4社とも学習指導要領の目標及び内容の押さえ方の範囲では、思考力、判断力、表現力の育成に向け、話し合う課題が多く設定されており、自らの思考を他者に伝える力を養う工夫がされていました。

構成上の工夫では、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて議題の数、意見を出し合える工夫などの対話的で深い学びを掲げる設問があり、学んだことを日常生活に結びつけながら、さらに深められるよう工夫されていました。各領域の構成と分量については表記のとおりです。

情報活用能力の育成に関する範囲については、どの教科書も図や写真、表など資料が多く、理解度を深めるように工夫されていました。QRコード、外部リンクの内容については、中身に少々差が大きく、大修館と東京書籍がかなり充実しており、特に東京書籍のデジタルコンテンツがおおむね充実しておりました。

使用上の便利については、1単位時間の学習の目標が明確に示され、課題をつかみ、展開する、まとめて活用するスリーステップ構成の教科書が大日本図書、大修館、学研。フォーステップで深める、広げる、加えるという工夫をしている教科書が東京書籍でした。スリーステップの3社の中にはもっと広げる、深める資料や探

究しようという設問を起こして、さらに展開させる問いを提示している教科書もあります。スリーステップ、フォーステップがはっきりとしたわけではありませんでした。

見開きの配慮としては、左側に文章説明が中心のページ、右側が写真、資料がまとめられ、見開きで1単元が終了する教科書が大日本図書、説明文を中心に重要項目の周辺や、それを見開きの中で豊富な資料を提示する教科書が学研、東京書籍、大修館でした。また、どの教科書もストレス、疾病、薬物防止、がん、生活習慣病について内容が充実していました。さらに、日常生活での課題に対応した内容となっており、生徒にとって理解しやすさが配慮されていました。その他では、全ての教科書でスマートフォンやSNS、オリンピック・パラリンピック、SDGs、防災教育等が具体的に扱われていました。

各学校からの調査報告によると、教員にとって使いやすい資料の流れとは、学習の手順や興味がわくこと、説明資料が多く、発展的な資料が多く含まれていること。単元の見開きが2ページになっていて、生徒に見通しを持たせられること。また、保健体育の特色として、雨になった時に急に体育の実技の授業が保健に代わることがあります。その保健の授業の時に急な対応ができる教科書がやはり使いやすいという見方をしていました。確かにそのとおりです。また教員からの推薦ではやはり学研、大日本図書、東京書籍の順で3社がよいかというお話でした。一般のアンケートからは、日常の話題と言われる内容で、生徒の成長に沿ったものを期待しているというのがありました。

教科書を大きく2つ分けると、大修館、東京書籍、学研の3社と大日本図書の1社に分けることができます。3社は見開きで、今までの保健体育の教科書の形式を踏襲しており、また説明文の多くに、近くに写真データがあり、説明がしやすいといった意見もありました。現代の教員が生徒の時代から使っていた様式なので、若手の教員が扱いやすいと言えます。若手の教員からは、いわゆる学研が使いやすいといった票が得られました。しかし、見開きで左側に文章説明が中心、右側に写真で構成された大日本図書も慣れれば使いやすい。カラーも大日本図書が多いものから、そういう部分では学研よりも大日本図書のきれいだというふうな感じがしました。しかし今後、ネットを使った授業が一般化された場合に、東京書籍の情

報量は大変魅力的で、各単元、2分から3分程度の資料を東京書籍で用意して、インターネットでクリックすると、その2、3分で授業の流れとか、大事なところが出てくるというか、NHKのプログラムを捉えたというところで、特別なビデオを用意しています。これはすごく使いやすいなと思うのですが、ただ、50分の授業の中にどこにどう入れるかというのは、なかなか難しいという意見がありました。ですので、現在においては学研教育みらいと大日本図書が一番使いやすいのではないかというまとめです。よろしくをお願いします。

安間教育長 只今、報告が終わりました。

非常に率直におっしゃられたので、先生方の意見は非常に分かりやすかったのですが、保護者のほうから何か保健体育の教科書について、感想とか、何か聞いたことはありますか。

中村教科別調査部会「保健体育」部長 中学生の日常生活に合った内容のものが、やはり教科書にふさわしいのではないかと。新聞で載っていたこととか、授業の中でそれに関連することができたら、ぜひ普段の日常生活の事件とかトラブルとか、そういうものをぜひ保健体育の授業でやってほしいという要望がありました。

安間教育長 もう1点、こんな御時世ですので、当然教科書をつくる時には予想ができなかったわけですが、感染症対策というのは各教科書部分で、何か特徴がござい
ますか。

平山教科別調査部会「保健体育」副部長 どの出版社の教科書も感染症に対する単元がござい
ますので、そちらのほうでウイルスとの関係ですとかといったものを使っていますので、そこはこれから重視して学習させていかなければいけないところかなというふうに考えています。

安間教育長 若干フォローすると、どの教科書でも基本ベースはあるということでしょうか。

平山教科別調査部会「保健体育」副部長 はい、そうです。

安間教育長 もう1点、事務局のほうに質問です。GIGAスクール構想との今後の関係で、どんな特色が必要だと考えていますか。

木村指導課指導主事 保健体育では、健康や安全などの学習内容についてQRコードからアクセスして、シミュレーションや動画の視聴を通して理解を深めることがで

きるようになっていきます。また、学習内容に係る専門機関へのリンクを多く載せている教科書もあり、自ら調べることに活用することが想定されます。教師が視聴させたり、生徒が調べてまとめたりするなどの活用が想定されますので、そうした活用がしやすい教科書が効果的だと考えます。

安間教育長 分かりました。それでは各委員の方々、何か質疑はございませんか。

川島委員 御説明ありがとうございます。1点教えていただきたいのですが、先ほど先生方が使いやすい教科書というのは、例えば、雨の日に急な対応ができる教科書だというお話がありましたけれども、具体的にはどのようなつくりになっていると、急な対応に使いやすいという教科書になるのでしょうか。

中村教科別調査部会「保健体育」部長 教科書で使いやすいというので、具体的に言い過ぎてしまったのですけれども、やはり1冊で授業ができるという状況は本当に助かるというか、教科書の中にある程度細かく資料があるほうが、やはり使いやすいと思います。

川島委員 分かりました。ありがとうございます。

笠原委員 御説明ありがとうございました。先ほど教育長のおっしゃっていた感染症のところなのですけれども、教科書の構成上、3年生の分野に入っているのかなと思うのですけれども、質問したいことは、学年を超えて、例えば今とても大事なことなので、3年生のところだけでも、小学校1年生でやることのあるのかというようなことで、取扱いがあるかということが1つ。

これは私としてはそのところだけを一生懸命比べて見ていたのですけれども、感染症のところ、とてもちゃんと書かれているのは、詳し過ぎるかもしれないですけれども、今お名前が出なかった大修館さんだったのですね。専門的に見るとすぐちゃんと書かれているのです。そういうようなことも含めて、あまり詳し過ぎたりすると、先生方の授業の中では返って取り扱いにくい部分もあったりするのか、いかがでしょうか。

中村教科別調査部会「保健体育」部長 感染症のところを詳しく授業を扱いますと、単語が難しい。生徒にそれだけを説明したところで、嫌になってしまうので、やはり具体的に、例えば、大腸菌はトイレットペーパー何枚必要なのか。トイレをした後に手を洗うのは、大腸菌がトイレットペーパー10枚でも通ってしまうのだよと

いう話をするとか、そういうところから導入していく。感染症は、今色々な状況で情報が入って来ますので、興味・関心がわくようなところをいっていると、子どもたちは意外と昨日習ったところだと、そういうところがあるので、保健の授業で3年生が中心に感染症はあるのですけれども、1年2年でも保健の授業の時には、今流れているニュースの中でのことをうまく話して、生徒に興味を持たせる。そして自分からニュースをちゃんと見ていく、そういうところから専門的というか、詳しいことから、情報が多過ぎて、本当に正しい情報かについては疑問がありますけれども、でも聞いてみたいという気持ちのほうが大事なので、そういうふうに私は思っています。

伊東委員 御説明ありがとうございました。保健の授業で避けて通れないのが性の問題だと思うのですね。生徒の心の問題を含めてなのですからけれども、この辺りを御指導される中で特に指導しやすい教科書とか、そういったものはあるのか、お伺いしたいと思います。

平山教科別調査部会「保健体育」副部長 どの教科書も性に関すること、性の成熟であったり、性感染症のことについては触れてあります。どこの教科書が使いやすい、使いにくいというよりも、全体的に使いやすく構成されていると思います。特にページ数を性のところは1単元2ページのところを6ページを使ってつくられている教科書が多いのかなと思いますので、どこの教科書でも大丈夫かなというふうに思っています。

安間教育長 他にございましょうか。よろしゅうございますか。

部長のお話を聞いていて、本当に保健の授業というのは生きていく上での大切な力をつけていく、大切な教科なのだなというふうに思いました。

それでは、以上で協議のほうは終了させていただきます。次回までに御意見をお願いできればなと思います。

会議時間が長くなりましたので、ここで10分ほど休憩を取らせていただきます。再開は2時40分とさせていただきます。

【午後2時32分休憩】

【午後2時40分再開】

安間教育長 それでは、休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

技術について、まずは調査部会から報告をお願いします。

山口教科別調査部会「技術・家庭」部長 では、本日は、技術分野と家庭分野を分けて報告させていただきます。私からは、技術分野について次の3点について報告いたします。

第1に、八王子市の生徒の技術分野についての実態についてです。

ものづくりなど作業に取り組む意欲は、全体的に他地区に比べやや高い傾向にあります。これは、家庭や地域で体験する機会があり、ものづくりなどに興味・関心を持つきっかけが他地区よりも多いからだと考えられます。しかし、調査部会では、市内においても郊外にある学校と駅近くの学校では、環境が違い地域差が見られるという意見もありました。

また、プログラミングなど情報に関する意欲は、八王子市でも多くの生徒がスマートフォンを所有し使い慣れている様子が見られるので他地区とも差はなく高い傾向にあり、情報に関する知識・理論も高いと思われます。しかし、情報モラルに関しましては、他地域同様に、知識があっても意識が低い傾向が見受けられるという意見もありました。

以上のことをまとめますと、技術分野の内容項目は4つあり、そのうちの2つの内容、材料の加工に関する技術、生物育成に関する技術においては、特に八王子市においても差が見られる内容ということです。

その他の2つの内容、エネルギー変換に関する技術、情報に関する技術に関しては、八王子市においてはあまり地域差が見られないという意見でした。このことから、指導する内容によって八王子市内でも学習意欲や意識により差が見られるということが言えます。

第2に、アンケートからの声です。

3社に共通して言えることがあります。今までの教科書に比べ分量が相当増えていて、広く浅く学ばせることが狙いというように見られる。プログラミングの学習に使われている言語の意味を理解することを含めて、全体的に難しい内容になっている。また、教育図書出版の別冊ハンドブックはまとまってとてもよいという意見もあれば、教育図書出版の別冊ハンドブックや東京書籍のプログラミングなど資料が多いと生徒の負担になるのではという心配をする声もありました。

第3に、報告書の内容から特にお伝えしておきたい点と補足させていただいた点について御報告いたします。

新学習指導要領では、「主体的、対話的で深い学び」の実現が授業を進めていく重要な視点となっています。どの教科書も、この点については大変意識した構成になっています。その中でも特に特徴的な部分について紹介いたします。

東京書籍は、複数の身近な課題解決例をイラストや写真を多く用いて説明しているため、興味を持ちやすく、そして分かりやすい内容となっています。また、実習後の振り返りでは、会話を通して友達から意見をもらい、その意見を参考にして考えを深めていく構成になっているようで、学習した内容を定着させるとともに、得た知識や技術を生活に活かすことができると考えられます。

教育図書出版は、生徒同士の会話をイラストで紹介することで興味を持つ、友達との対話を促し、その対話を通して自分の考えを深める構成になっています。

開隆堂は、複数の実習例で身近な問題を取り上げ、問題解決の手順を示すことで興味を持って主体的に取り組むことができる構成になっています。また、それぞれの内容等の最後に提示されている参考資料について、授業で取り組んできた学習を基に話し合い活動を行うことで学んできた知識を深めることができます。

また、情報に関する技術では、プログラムについて指導することになっています。小学校で学んできたプログラミング教育のプログラミング的思考を活かして指導することが有効であることは言うまでもありません。どの教科書会社も生徒に分かりやすいプログラミング言語を使って説明をしています。その中で特に特徴的な部分について紹介いたします。

東京書籍では、小学校でのプログラミング体験に個人差があっても、簡単なプログラミングを体験できるように別冊付録がついています。そこには、スクラッチ、ドリトル、ジャバスクリプト、3つのプログラミングについて詳しく説明されています。

教育図書出版でも、プログラミングの基礎技能技術ハンドブックでまとめてあります。そこには、スクラッチとドリトル、なでしこの3つのプログラミングについて詳しく説明されています。

開隆堂では、資料にコンピューターの基本操作を含めプログラミングの基本操作

の説明がまとめられています。そこには、スクールアーチとドリルの2つのプログラミングについて詳しくまとめられています。

最後に、技術・家庭科の授業時数が他の教科と比べて少なく、限られた時間で分かりやすく授業を進めていくことが必要になっています。そのためには、参考資料を活用しての説明、他教科や小学校での学習を関連づけて学習させていくことが重要になってきます。そのためにも、多くの参考資料を掲載していることや、今学んでいる学習内容が、いつ、どこで学んだ知識や技能と関連しているのか教科書に記載されていることが生徒にとって学びを深めることにもつながると考えられます。

以上、技術分野の説明を終わります。

安間教育長 只今、調査部会の報告が終わりました。それでは、技術について意見を頂きたいと思います。

まず、冒頭、私のほうから。今、時数の話がありましたけれども、やはり、実技教科と呼ばれている教科はどうしても実技が中心になってきます。その際に教科書の使い方なんです、当市の技術科の先生方というのはどんな教科書が使いやすいとお考えですか。

山口教科別調査部会「技術・家庭」部長 やはり教科書を使って説明して、見開きですと説明がしやすいと。それからあとは、写真が多く、特に手元が大きく載っているもの、やはり視覚的に分かる教材が教科書として分かりやすいというような声が聞こえてございます。

安間教育長 あまり機会はないと思うのですが、保護者が技術の教科書を見た時の感想など、もし聞いたことがありましたらお聞かせいただけますか。

山口教科別調査部会「技術・家庭」部長 特に技術科の教科書に関する意見というのは聞いておりませんが、やはり安全、このことに関しては子どもたちにきちんと身につけてほしいというようなことが考えられます。ですので、やはり安全に配慮した教科書、これをと考えております。

安間教育長 もう1つ、事務局のほうに。今後のGIGAスクール構想に効果的な教科書というのは例えばどんなことが必要だろうと考えていますか。

木村指導課指導主事 技術分野では、材料の加工に関する単元で、参考にする加工技術の動画や学習する角度に参考にできるような解説等が、シミュレーションなどで

用意されています。これらを教師が大切な補助として使用させることや、生徒が各自の作業等に合わせて視聴するなどの活用が想定されます。そうすると、用意されたコンテンツが活用しやすくなっている教科書が効果的だと言えます。

安間教育長 分かりました。

もう1つ、技術科ではコンピューターそのものを学習するという点が必要になってくる。そうすると、GIGAスクール構想をやっていっていると、ソフトの問題ではなくて、操作のところというのはこの技術科で対応しなければならないというふうにお考えになりますか。

山口教科別調査部会「技術・家庭」部長 総合的な学習の中でも行われていると思いますが、やはり差が出てくるのだと考えております。ですので、小学校でもプログラミング学習という形でやってきてはいますが、やはり、生徒において能力差が出てくる、そのところは技術科のところではやはり子どもたちに対してより分かりやすく指導してあげないと、できる子とできない子の差がより激しくなると考えています。

安間教育長 他の委員の方々から何か御質疑ございませんか。

伊東委員 御説明ありがとうございました。

今、御説明でも出ていましたが、やはり新しい学習指導要領の中では学習の基盤となる資質・能力を子どもたちに育成するということで、学習の基盤となる資質って何かというと、色々ありますけれども、言語能力、それからそのあと情報活用能力と情報収集能力と、そういった情報関連に関する資質・能力の育成ということがすごく言われていましたね。そうすると、今、話題に出ていた技術科の授業の中でどういう指導をしているかということがとても重要で、大きなウエイトが出てくるのではないかなと思います。そういう意味で、プログラミングということ以外に情報の収集・活用能力、ある意味では情報リテラシー、情報モラルと、そういったことを指導していく上でこの教科書、具体的な教科書会社でなくていいんですけど、こういう教科書がいいということが、もしありましたら教えてください。

山口教科別調査部会「技術・家庭」部長 やはり先ほどもお話ししましたとおり、子どもたちの情報活用能力が教員よりも上回っているところもあるかなと思います。ただ、情報に関してはプラスの面とマイナスの面をやはりきちんと教えていくとい

うことが必要となってきます。子どもたちも分かってはいる部分と、安全面、ここがやはり大丈夫だろうというようにある意味考えてしまうところもありますので、技術科という教科の中で安全な面、それからマイナスの面、危険な面、この部分をできるだけ詳しく説明していきながら、あとは興味・関心をどう持たせるか、それを自分なりに咀嚼して自分でストップをかけなければいけないというような使い方ができるような教科書が使われたほうが一番使いやすいかなと考えております。

安間教育長 他にございますか。

川島委員 この御説明の中で、八王子は広いので地域差がありますよというお話がありました。特に、情報に関してはそんなに地域差が見られないけれども、材料技術というお話のほうに地域差があるよというお話がありましたけれども、逆にそういう地域差をなくすために、教科書はどこが扱いやすいというのはあるのですか。

山口教科別調査部会「技術・家庭」部長 例えば、ものづくりで言いますと、行っている家庭もありますし、やっていない家庭もある。あるいは、地域の行事などで、子どもたちをものづくりに参加させたりとかですね。家庭や地域によって違いがあります。また、裁培育成、これに関しましてやはり校庭が少し広い部分では花壇を使っての裁培育成等ができますが、校庭が狭いところでは鉢植えとか、あるいは日陰になりにくい場所をどう探して行ってそこで裁培育成をしていくかというような例が示されている、多様な方法が考えられる教科書が記載されているほうが各学校の状況に応じて活用しやすいかと考えます。

川島委員 分かりました。ありがとうございました。

安間教育長 他にございましょうか。

柴田委員 御説明ありがとうございました。

プログラミング教育のところでお伺いしたいんですけども、小学校からの接続ということ考えたときに、新しい教科書の内容というのはどのようなものなのでしょうか。

山口教科別調査部会「技術・家庭」部長 小学校においてどのように取り組むかは、学校ごとに違います。一概にこれを中学校でやっていくと言うことは難しいですが、基本となるプログラミング的思考、このところをやはり皆さん教わってきているということ的前提で取り組めたらと思います。ですので、各中学校は入学してくる

生徒にどのような授業を行ってきているか、どのような力を身につけてきたかということ聞きながら、その子たちに合った内容を中学校の技術科では取り組むことが必要だと考えられます。

安間教育長 他にございましょうか。よろしゅうございますか。

それでは、次回までにご意見をまとめていただければと思います。

安間教育長 次の種目に移りたいと思います。家庭科について、調査委員会から報告をお願いします。

竹田教科別調査部会「技術・家庭」副部長 技術・家庭科部会副部長の竹田と申します。私からは、家庭科部会についての御報告をいたします。

第1に、八王子市の生徒の家庭科分野に関する実態についてです。

八王子は昔、絹のまち、織物のまちとして栄えました。地域に伝わる衣服の文化を受け継ぎ、織物で周年行事の記念ぱっぴを製作する学校もあります。また、地域でのお祭りでは、浴衣や甚平を着る中学生もいます。

住まいの分野では、八王子は、地域によって様々です。どの地域でも、住んでいるまちを誇りに思う人が多いと感じております。

食の分野では、中学校では、お弁当給食からセンター給食へと移行し、今年、センター給食を開始した学校では、生徒が皆同じものを食べるということで同じ土俵に立つ安心感から学ぶ意欲に変化が見られているという現状もございます。

今回の学習指導要領改訂では、「和服」、「和食」、「地域に暮らす」、「高齢者」がキーワードになっております。八王子市の生徒は、日本の文化や地域との関わりを学ぶ環境に恵まれていると考えます。

第2に、アンケートからの声です。

アンケートからは、教科書の配列が、衣食住、消費生活、環境、家族、家庭生活の順がよい構成であるという御意見を頂きました。今回の新学習指導要領では、A、家族・家庭生活、B、衣食住、C、消費生活・環境という3つの柱で構成されているのが特徴です。保護者からは、家庭科の教科書は卒業後も手元に置いて活用しているという声も聴きます。どの教科書を使っても心に残る授業での実験・実習や、今後の生活に役立ち、教科書を活用しQRコードを利用して生活に活用できること

がよいと考えます。

第3に、報告書の内容から特に記載しておきたい点と補足させていただきたい点について御報告いたします。

新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ、「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けての特徴をお伝えいたします。

東京書籍出版では、生徒自身が問題や課題を発見するきっかけになるように現代的にイラストや写真も入っていることから、ヒントを得られるように工夫されています。各分野の学ぶべきキーワードが示されており、見通しを持ち、主体的に学べるように工夫されています。

教育図書出版では、各章に「やってみよう」、「学びを生かそう」というタグがあり、生徒が学びやすい内容になっています。「見詰める」という中学生の何げない暮らしの一言の中にヒントを見つけるきっかけになっているよう、工夫されています。

開隆堂出版では、「主体的、対話的で深い学び」と大きく書かれています。主体的とは、自分の興味・関心、自分を大切にする、対話的とは、言葉で頭を使って対話する、深い学びは、生活の課題と実践に盛り込まれ工夫されています。

各編に補足をいたします。

A、家族・家庭生活では、地域に暮らす高齢者がキーワードとなっています。

東京書籍出版では、中学校での活動例を示し、高齢者について、地域の協働、高齢者との関わりについて見出しを立てて取り扱っています。

教育図書出版では、高齢者については、地域との関わりの中で一部取り扱っています。

開隆堂出版では、高齢者について、地域の協働、高齢者との関わりについて、見出しを立てて取り扱っています。

B、衣食住では、蒸す料理についての扱いが追加されていることがキーワードとなります。3社とも、まず料理については、過熱する中に蒸し料理の方法の説明が追加されています。実践例は、他の2社よりも教育図書出版が多く掲載されています。

C、消費生活・環境では、3者間契約の視点と環境を考慮したエシカル消費がキ

ーワードとなります。

東京書籍出版では、クレジットカードと3者間契約が大きく太字で掲載され、その説明と図が載っており分かりやすく説明されています。社会的な規範として影響をしっかりと考えるという視点でエシカル消費を扱っています。消費生活に関わる対応には消費者マークを多くして、生徒の意識を高める工夫がされています。

教育図書出版では、3者間契約と記載され、その説明文も載っており、分かりやすく説明されています。消費生活に関わる暮らしの中のマークの記載がされています。買物の社会的な意義について述べ、エシカル商品について扱っています。

開隆堂出版では、クレジットカードの仕組みとメリット、デメリットが比較して掲載されています。エシカル商品については、言葉の豆知識として扱っています。

以上で、家庭科分野の説明を終わります。

安間教育長 只今、家庭科部会の報告が終わりました。それでは、家庭科について協議に入りたいと思います。

まず、八王子の家庭科の先生方は、どんな教科書の使い方をされているのでしょうか。

竹田教科別調査部会「技術・家庭」副部長 技術家庭科分野の子どもたちは、少ない授業の中でも3つの視点で教科書を使用しているというようなことでお話が出されておりました。学ぶ目標がはっきり分かること、導入で学びに向かうエネルギーを発揮させられること、振り返りを行い成果が確認できる、この3つの点が望ましい教科書であり、それを意識して使用しているということが報告されております。

安間教育長 もう1つ、実態を伺いたいのですが、3月から始まったコロナ禍の生活で、家庭科の教科書というのはどんな使われ方をしていたのでしょうか。

竹田教科別調査部会「技術・家庭」副部長 家庭科の教科書の中には、家庭で様々なものをつくり、新しい教科書の中ではマスクのつくり方なども掲載されている教科書もあつたりしまして、それを利用して生徒たちに課題を与えた先生も多くなるようです。

安間教育長 それはすばらしいことだと思いますね。教科書って物すごくよくできていますよね。だから、こうして自粛生活をしなければいけない、先ほど保護者の方で授業が終わっても、卒業してもずっと手元に置いてとありましたが、どんなこと

で使うのか、どんなものがあるから手元に置いていただけるのですか。

竹田教科別調査部会「技術・家庭」副部長 生活している中で様々な困難にぶち当たったときに、一番いいのは授業でやったことを思い出してできるというのが一番いいのですが、それ以外でも応用されているものがあったり、あと、消費生活で困ったことがあったりしたときに中学校の教科書の中に書いてあったなというのを初めてそのときに見るといような、そういうお話も聞いております。

安間教育長 いや、もうその話を聞くと、ぜひとも中学校生活のためだけではなくて一生使えるようないいものを提供してあげたいなと思います。

もう1点、今後、GIGAスクール構想を実現していく上でどんな家庭科の教科書だとよいと考えますか。

木村指導課指導主事 家庭分野では、QRコードによって衣食住や消費などの分野で参考となる動画やシミュレーションにアクセスすることができます。これらを使用して。授業で理解を深めるためにシミュレーションに取り組むなどの活動に加えて、生徒が家庭において実際に必要となったときに動画を視聴して学習したことを確かめたり知識を広げたりするなどの活用が想定されます。そのため、生活の様々な場面で活用できるコンテンツが用意されている教科書が効果的だと考えます。

安間教育長 分かりました。

各委員の方々から何か御質疑ございますか。

伊東委員 御説明ありがとうございました。

2点ありまして、今色々な御質問の中で家庭科の教科書はずっと卒業してでも取っておくというなお話がありましたけれども、3年間にわたり技術・家庭の授業時数ってかなり減ってきており、その3年間の中で全部終わらすことができるかどうかということはずっと心配なのですけれども、その辺りについてお伺いしたいと思います。

それから、もう1点は、技術も家庭分野もそれぞれ男女共修でやっていますよね。男女共修との関係で、特に家庭科に関して、こちらのほうがやりやすいとかそういうような視点があれば教えていただければと思います。

竹田教科別調査部会「技術・家庭」副部長 まず、1点目の全部終わらせられるのかどうかということですが、先ほども新学習指導要領では203項目という

ことですけれども、今回2分野に分かれているわけですけど、それが網羅なく規定時間をきちんと授業の中でやるということで、教科書は特にこの地域ではここに力を入れるというところはあるけれども、どこかが終わらないとかやらないということはありません。ですので、資料がいっぱいになってそれを全ての資料が授業の中で使えるかということは、使わない分もあるかもしれないのですけれども、それが例えば小学校のときに言っていたことだとか、高校に行って中学校の教科書に載っていたなという、そういう影響も含めて必要な部分があるのだなというふうに考えております。

2点目は男女共修のことなんですけれども、技術・家庭科の分野に関しては、配慮しなくてはいけないのは、男か女かというよりも、左利きか右利きかとかそういう配慮ができるかとか、色々な福祉とか教育に関して配慮できているか、そういうことのほうが大事なかと考えています。

安間教育長 他にございましょうか。

柴田委員 御説明ありがとうございました。

若手の教員が授業を行う場合に、例えば、新米の教師が家庭での生活というものを営んだ積み重ねが少ないと思いますので、そういった教員が使いやすい教科書というものはどういうものなのでしょう。

竹田教科別調査部会「技術・家庭」副部長 若手の教員に関して経験がないところですけれども、だからこそQRコード等で色々な動画が見れたりとか、経験が載っているとか、そういう教科書はより効果的なのかなと思います。

安間教育長 他にございましょうか。

川島委員 冒頭の説明でも少しお話をされていたのですが、八王子もいよいよ中学校給食が始まりまして、御承知のように八王子は以前から食育にも大分力を入れております。そういう意味で、例えば、すごく特徴的な食育に関する事項があるような教科書というのはありますか。

竹田教科別調査部会「技術・家庭」副部長 特に教科書では、話が出ているものは、食品ロスの問題を入れている教科書はあります。それが給食の残さいの量ですとかということを考えていくことになるかなと。

それから、自給率の問題ですとか様々な文化に関する事、その食文化に関する

ることを八王子のことが載っていないなくても理解が、日本の郷土料理ですとかその文化に関することが載っている、分かりやすく掲載されている教科書がよいのではないかと考えています。

柴田委員 ありがとうございます。

安間教育長 他にございますか。

笠原委員 技術も家庭もこれからの子どもたちが生きていく上で身につけておいてほしいことばかりあるところです。今回新しい教科書を見て、高齢者のことが書かれているとか、あと、お金のこと、それから子育てに関するようなことだと中学生にとっては少し想像しなければいけないことだと思うのです。自分が今やるというよりは、知っていてこれからどうするかという。そういうまだ今、自分が直接関わっていないかもしれないようなことを学ぶというような意味でも、使いやすい、教えやすい、あるいは分かりやすい教科書というのはどんな文面や視点がいるのか教えていただきたいです。

竹田教科別調査部会「技術・家庭」副部長 キャリア教育の色々な面で、先輩に聞こうとか身近な人から話を聞こうとか、色々な体験談が書かれているような教科書が
ございます。どの教科書にも何かしら先に生きている人たちの人間的な考えとか、そういうものが書かれている教科書もございますので、それを生徒がそれを見て、先生が見て使えるような教科書がいいのかなと思います。

安間教育長 他にございましょうか。よろしゅうございますか。

それでは、次回までに御意見をまとめていただければと思います。

安間教育長 それでは、続きまして次の種目に、英語について協議を頂きたいという
ふうに思います。

それでは、調査部会からの報告をお願いします。

木内教科別調査部会「外国語（英語）」部長 3点報告いたします。まず、八王子市の生徒の実態です。次に、教科書採択に関するアンケートの声です。最後に、調査報告書から特に報告しておくべきことの説明です。

まず、1つ目、本市全体の傾向として、市の学力テストなどによれば、基礎的な力があり、英語でのコミュニケーションに対する意欲が高く、聞くことが得意な生

徒が多いと言えます。育てるべき力としては、読み取った内容を踏まえて文を完成させたり、場面の流れに合った英語を書いたりすることが挙げられます。また、本市は学校数が多いこともあり、英語が大得意な生徒から苦手な生徒まで幅広く分布していると言えます。このことから、英語の基本的な語や文型をしっかりと定着させ実際のコミュニケーションにおいて活用できる程度にまで高めること、まとまりのある文章の内容を主体的に読み取り表現するような領域間の総合的な英語活動を行うことが大切であること。そして、各科の本文以外にまとまった長さの発展的な読解を行うことが求められていると考えます。

次に、2つ目のアンケートです。資質・技能のパート、そして思考力・判断力・表現のパートが明確に分かれているもの、経験が浅く指導方法がまだ確立していない若手の教員向けには教科書に沿ってスモールステップの活動を行うことで学習指導要領の目標が達成できるもの、内容が興味深いもの、文型を定着させるための練習であっても自己表現につながる豊富な語彙があるもの、発展的な読み物の掲載があるもの、1年生が無理なく学べるように字の大きさが見やすいもの、生徒が自宅でも学べるように重要な文法のまとめが分かりやすいもの、そして入試対策として使いそうなものが求められていました。本校の学校運営協議会やPTAの方からは、教科書を使う先生が指導しやすいものがいいという声や、中学生になって学習意欲が高まるような内容とイラストや写真があるものがよいという声を頂きました。

最後は、3つ目の調査報告書です。

東京書籍は、まずは概要を捉え、そして詳細を押さえ、この中で活用場面や目的、状況を理解しながら表現につなげるという構成になっております。たくさんの言語活動、興味深い内容、発展的なまとまった長さの読み物などが充実しております。その分、サイズが他社より大きくなっています。

開隆堂は、個人学習が共同学習に進むように構成されています。絵を見ながら本文の内容を口頭で再現する、見せるのセクション、そして巻末のカードなどを用いながら即興で相手に伝えたり発表したりする話す力を育成するインタラプトのセクション等、話すことを大切にした構成になっております。

三省堂は、基本的なパターンプラクティスを行使し言語の働きを学び、自己表現につなげるようになっております。各科がそれぞれゲストとユーズの2つに分かれ、

ゲストでは知識、技能、ユーズでは思考力、判断力、表現力を育むものと、育成すべき能力が明確になっています。即興性ややり取りの話す力を育む付録や、まとまった長さの読み物もあります。

教育出版は、見開き1ページで聞く、話す、読む、書くの4つの技能を扱っているため、効率よく学習することができます。各科の本文の中で言語の働きなどを学び、プロジェクトの中でそれらを活用、スピーチなどを行う構成になっています。巻末の付録、赤い透明のシートなどを用いて、即興で話す力を高める工夫がされています。

光村図書は、言語の働きを学び、ペアやグループにより対話で繰り返し練習し、これを活用して自己表現ができるように構成されています。職場体験や合唱コンクールといった教育活動に関連づけたストーリー仕立てになっており、生徒にとって親しみやすい内容となっています。即興性ややり取りの話す力を育む帯教材や、まとまった長さの読み物もあります。

啓林館は、学んだものを利用して長文を読んだり自分の考えを表現したりするように構成されています。全ての言語活動が基本的で使用頻度の高いもので行われるように工夫され、スモールステップを踏みながら確実に身につけられるようになっているため、無理なく表現できるようになっています。

以上で説明を終わります。ありがとうございました。

安間教育長　　只今、調査部会の報告が終わりました。それでは、英語についての協議に入らせていただきます。

最初に、保護者の声を聞かせていただいて本当にありがたい。具体的によく分かりました。その中にあった先生にとっての使いやすいもの、全くそのとおりだと私は思っている。どんなものが使いやすいのか。私のイメージで言うところの中学校の教科書、やっぱりどうしてもこれは本ですし冊子ですから、読むことも書くことの学習に向いています。しかし、もう10年、20年、英語の先生方は話すこと、聞くことを求められていますよね。そういった指導をするためにはどんな教科書がやりやすいのですか。話すこと、聞くことを学ばせるというのはどんな教科書がよいのでしょうか。

木内教科別調査部会「外国語（英語）」部長　　それぞれのセクションでどんな力を育

成するかというところがはっきり分かるものがよいと思います。このページでは基礎的な力を、そしてこのページ以降は活用する能力というふうに狙いがはっきりと教員にとっても分かるように、それから若手の教員にとっては、教科書のページに沿って指導していけば狙いに到達するような活動がきちんと並べられているものがよいと思います。

安間教育長 具体的な要素があると伝えやすいとありますよね。

木内教科別調査部会「外国語（英語）」部長 最初から、聞く、話す、書く、読むというのが基本的に英語を学ぶ習熟の順番になっておるとと思います。その流れに沿ったページになっているものがよいというふうに考えられます。無理に教員がアレンジすることなく、順番に、どんな教員でも、若手でもベテランでもそうなのですが、ページを自分でアレンジすることなく教科書に沿ってやっていけば、最終的に育むべき能力が育つようなものがよいと思います。

安間教育長 分かりました。

あと、本日の会議の冒頭で話したのですが、英語では学習指導要領の内容が1年から3年まで3年間まとめて示してある。一方で、教科書は学年ごとに発行されているわけですね。文部科学省では、令和3年度の2年生・3年生については新しく採択した発行者の教科書を使用してもいいし、現在使用している教科書発行者の新版の教科書を使用してもよいというふうになっていますが、子どもたちや教師にとって現在の発行社の新版教科書を使うほうがいいのかとお考えですか、それとも、新しく採択した発行者の教科書を使用したほうがよいと考えますか。率直なところを聞かせてください。

木内教科別調査部会「外国語（英語）」部長 全ての学年が同じ教科書会社、新しい教科書になるのがいいというふうに考えます。

安間教育長 参考にさせていただきます。

事務局の方にお伺いしたいのですが、このGIGAスクール構想を実現するにあたって、英語という教科は、非常に強力になると思うのですよ。その際に、効果的と思われるような特徴というのはどんなものが必要だろうと思いますか。

木村指導課指導主事 教科書にあるQRコードから専用のサイトにアクセスすることで、語句や本文の音声を聞いたり、文法の解説等が応用問題で、学びを深めたりす

ることができるのが特徴です。これらを利用して繰り返し語句の基本音声を再生してアクセントを確認しながら話す練習をすること、そして、各レッスンの本文を聞いてリスニングの力を高めたりスピーキングの練習を行ったりするといった活用が想定されます。効果的だと思われる教科書は、それらの活用がしやすくなっているものだと考えます。

伊東委員 御説明ありがとうございました。

私もかなり英語の中学校の授業に参加する機会があったんですけど、そのときに教科書以外の副教材を自由に使っているのですね。それで、かなり英語の先生、非常にスピーディーに非常にめり張りのある授業の仕方をして、その副教材も有効に活用しているのですが、教科書だけだとそれは駄目なのか。見た感じ教科書にも副教材と同じような内容のエクササイズみたいなのがあったりしているのですけれども、なぜ副教材を使わなければいけないのかということについて教えていただきたい。それを使わないでも教科書で賄えるのかどうなのか、そういった教科書があるのかないのか、教えていただければと思います。

木内教科別調査部会「外国語（英語）」部長 やっぱり基本的なところ、それから特に読み物などは各会社によって多少違うのかなというふうに思います。量的に。それを考えると、全てがたくさん入っているものは副教材を買う部分を削除できるなというふうには感じております。実際に、この教科書、話すことに重きを置いているとか、バランスよくたくさん詰まっているなというような分量的な違いは感じます。

安間教育長 他にございましょうか。

笠原委員 御説明ありがとうございます。

英語の教科書を読むということもすごく大事なのだと思います。長文の内容が結構色々違いがあるなというふうに感じていたのですが、生徒たちはどういうものに関心を持つかということなのですが、多分これ出版社の意図も色々あると思うのですが、割と日本に関することを英語で御説明している文章がいっぱいある、載っているものと、あと、本当に海外のことが英語で紹介されていたり英語の物語だったりということはあるのですけれども、生徒さんたちはどんなところに関心が引かれるのでしょうか。

木内教科別調査部会「外国語（英語）」部長　やはり自分の関心のあるような科学ですとか、そういうふうに自分に興味の、中学生が興味を引くという、例えばそれが日本の内容でも構わないのかなと、海外のことも構わないのかなと。ただ、現代的な話題、そういったものに触れているもの、内容もそうですけど写真ですとかそういうものが子どもにとっては興味・関心を引くというふうに考えております。

笠原委員　ありがとうございます。

安間教育長　他にございましょうか。

川島委員　先生方のほうから使いやすい教科書というお話はお聞きしたのですけれども、のきなみ生徒のほうから主要教科について自学というか予習・復習のほうというのはかなり力を入れているかと思うのですけれども、そういう観点から見て使いやすい教科書というのはどういうふうな教科書が考えられるのでしょうか。

木内教科別調査部会「外国語（英語）」部長　試験前などになりますと、やはり文法事項ですとか単語、そういったところを復習している姿も多いかなというふうに思いますので、そういったこのセクションでは何を学んだのかなというまとめの部分がしっかりしているものがよいかと思います。

川島委員　ありがとうございます。

安間教育長　他にございますか。

伊東委員　高校のスピーキングに関する入学試験の取組の配慮とか、令和4年からですかね、そうすると今年入学する新1年生が3年生になるときですね。そうするとそのスピーキングテストとの関連で結局そういった力を育成する上で教科書会社の違いというのが出るのかどうかを教えていただければと思います。

木内教科別調査部会「外国語（英語）」部長　スピーキングには2つありまして、1つは、用意した原稿にあるものを丸暗記というような形で伝えるということもあれば、もう1つ出てきたのが即興的に答えるということだと思います。急にお題を与えられて、それに対して英語で伝えると。後者のほうがこれからのこの入試、スピーキングテストなどで非常に重要になってくるかなというふうに思います。今回の教科書を見ますと、こちらのほうに副教材に即興性を鍛えるような帯教材、ドリル、カードなどがついているものがありますので、そういったものもきちんと入ったものがないと思います。

柴田委員 小学校からの接続について伺いたいのですけれども、小学校で英語の4技能を身につけていくには、その4技能の学習の配列ということにつきましても小学校から考えていって、中学校では、どういうふうなものが使われていくとよいとお考えでしょうか。

木内教科別調査部会「外国語（英語）」部長 文型の配列は若干会社によって違うかなと思いますが、全ての会社が小学校で学んだものを、再度、中学校1年生の教科書で振り返ったりですとか、小学校でやったような活動を再度行うようなページを設けてありますので、このような形で繰り返し色々な形で出てくるという形で子どもたちは身につけられるのかなと思います。

柴田委員 ありがとうございます。

全ての教科書の中で小学校の振り返りがしっかりされていると見受けられるのですけれども、特に英語の場合、塾に通っている子とそうでない子の差というのがあって、塾に行けていないお子さんは苦手意識を中学校1年生から持ってしまうというようなことも危惧しております。そういった中で、復習をする上で特に有効な方法を取っているような教材というのはどういうものなのでしょうか。

木内教科別調査部会「外国語（英語）」部長 全ての会社が上手にできているのかなと思っております。教科書の最初のほうで、小学校で学習した表現や英語の文字の振り返りをしようというようなページを設けておりましたり、そこで丁寧にもう1回、中学校の先生が指導してあげることが大切かというふうに思います。また、幾つかの会社なのですけれども、小学校のときの教科書と非常に似ている紙面のものがあります。教科書の中に文字を書き込むといったようなスペースもございますので、そのほうできちんと小学校で学んだことが身につけているかなんていうのを教員がしっかり指導などを通してチェックして、落ちこぼれ、ついていけない子がいないかというのを確認するにはできているかなというふうに思います。

柴田委員 ありがとうございます。

安間教育長 他にございましょうか。よろしゅうございますか。

それでは、次回までに御意見をまとめていただければと思います。

安間教育長　それでは、次の最後の種目になりますが、道徳について協議をいたしたいというふうに思います。

それでは、道徳について、まずは調査部会から御報告をお願いいたします。

近藤教科別調査部会「道徳」副部長　それでは、調査報告については私から説明し、質問には内野道徳部長から回答させていただきます。

今回、調査を行ったのは7社の教科用図書になります。横断的に3点について報告をし、その後、各社の特徴についてお話をさせていただきます。

まず1番目に、教科書のサイズです。大きいA B判のほうが見やすさで言えば優れています。文字、写真が大きく出ています。一方、B 5判のほうは小さくて見にくいということがあり、保管、持ち運びについては優れていると言えます。どちらにされても支障はありません。

2番目です。分冊のことについてです。別冊がついているのが2社、他の2社は1冊の中に盛り込んでいます。提出させる場合は別冊のほうが便利と考えられます。現在使用している教科書には別冊はついていません。分冊に対しては、紛失しやすいのではないかと不安を持っている教員もいます。

3つ目です。次に市民の声です。道徳についての記述の多くは、道徳という教科そのものや評価することについて不安や反対を示されているものです。教科書に反対する理由として、日本の戦争や占領を美化するものは許せないという点があります。教員の立場では発問が分かりやすいものなどの意見が見受けられますが、それは教材研究を行えば済むので、多くの教員はよい教材や自分が好みの教材が多く掲載されている教科書を望んでいるというふうに思われます。

次に、各社の教科用図書の特徴について説明をいたします。

1番目に東京書籍です。

年間35時間が標準のところ、各学年38時間ほどの教材を用意しています。生命の尊さ、3学年とも4時間ずつ対応、2年前から21の教材を冊子にしています。SDGs、情報、SNSなどに関わる教材を数多く取り上げています。また、各教材の最初にテーマや漫画を示しているのが特徴です。各学年の巻末にホワイトボード用紙をつけていて、そういうものは東京書籍だけでございます。クラス内対抗のものを取り上げたものやライバル同士の友情などの感動的な話もあります。

2 番目でございます、教育出版でございます。

現在、八王子市で使用されている教科用図書です。表紙の絵が生徒の親しみやすいイラストに変更されています。冊子にされているのは5教材分、本市にとって1番の特徴は、2年のオリジナル教材、ドイツ・ブリュッセルに出てくる日本人史、肥沼医師の生涯でございます。八王子市出身の肥沼信次博士を扱っているということでございます。また、基本的な課題も数多く取り上げております。また、オリンピック・パラリンピック選手を数多く扱っていて、巻末には都道府県にゆかりのある人物とその言葉が各学年に掲載されています。

3 目です。光村図書出版です。

「橋の上のオオカミ」や「泣いた赤鬼」など、小学校の定番を掲載しています。また、4つのシーズンに分けているのも特徴でございます。こちらもSDGs、情報などの基本的課題を数多く取り上げています。生命の尊さも3学年とも3時間ずつ配当しています。巻末のコラムなども工夫しています。

4 番目です。日本文教出版です。

1 番の特徴は、道徳ノートという別冊をつけていることです。この別冊は本作の教材順の配列で、主にワークシートとして練習をすることができます。各学年のテーマも3つほどあるんですが提示した上で、さらに各学年10のテーマに分類をしています。また、生命の尊さも3学年とも3時間ずつ入り冊子されているのは9教材、こちらもSDGs、情報、SNSの基本的課題が多く取り上げています。

5 目です。学研教育みらいです。

現在はA4判でかなり大きかったのですが、AB版になりました。生命の尊さも各学年とも3時間ずつ配当、刷新されているのが16教材で、改善に意欲を感じます。SDGs、情報、SNSなどの共通課題は数多く取り上げています。スポーツに関わるその扱いも多く見られています。

6 目です。廣済堂あかつきでございます。

中学生道徳ノートという別冊をつけています。この別冊は、内容項目順に資料が反映されて学習の記録を記入できるようになっています。全学年重点材料を同じにし、同じ時間を配当しています。また、自立、思いやり、生命の尊さ、生きる喜びなどを3時間ずつ配当しています。こちらのほうも、SDGs、情報、SNS、

共通課題を数多く取り上げています。

7 番目です。日本教科書です。

各学年 3 7 時間分の教材を列記しています。デジタルコンテンツ、QRコード、特別に設定することなくシンプルなつくりをしていると言えます。その分、もっと知りたいという追及ページを充実させています。こちらも、全学年、友情・信頼に 3 時間ずつ配当、冊子にすれば 1 教材です。他社に比べて文字が小さめになっていますが、現代的な教材や現在から過去を見た教材が多目なのが特徴でございます。

今回、7 社、3 学年、約 7 0 0 の教材を調査したのですね。色々な教材がございますが、特に道徳の教科書の中では、多くの方が病気になったり障害者になったり、亡くなったりしているものがあります。また、生命の操作について書かれているものもありますが、命の重さ、自殺予防対策といわれている中、やはり道徳の時間が重く暗いものにならないように各社には様々、今後お願いしていきたいなというふうに思いました。また、社会情勢が変化している中、よい教材ではありますけど設定自体が少し古く今の時代の生徒にはイメージができていくものもあります。

以上で、道徳の調査報告を終了いたします。

安間教育長 只今、調査部会の報告が終わりました。それでは、道徳についての協議をいたしたいと思います。

まず、私のほうから最初に。先ほどの英語と同様に、道徳も学習指導要領の内容が大事なところですよ。道徳の場合、子どもたち、また先生たちにとっては、現在の発行者の新版の教科書を使ったほうがいいのか、それとも、新しく採択した本市の教科書を全部変えて使用したほうがいいのか、どちらがよいとお考えですか。

内野教科別調査部会（道徳）部長 現在使われている教科書をそのまま使ったほうが、もう 2 年間使っておりますので慣れているという点が優れているかなというふうには思います。また、どこかで変える機会というのもあるかなと思いますので、ただ、ここはまだ 2 年ですので引き続き使ったほうが今の場合にはよろしいかなというふうに思います。

安間教育長 もう一回、内野部長にお伺いしたいのですが、先ほどのアンケートの中にもありますけれども、いまだに道徳の時間における、評価と評定を混同していると感じています。評定ではないのは、当たり前の話です。思いやりの心に段差が

あるわけないですから、一段、二段、三段、四段、段階があるわけではないので評価がつくわけがない。何でこの評価と評定をいまだに混同されて理解されていないのかと、現場で特に研究されている校長先生として何かお考えがありますか。

内野教科別調査部会（道徳）部長 一般的な方の中にはこの道徳そのものにアレルギーを持っている方が実際にまだ残っているというところがあるかと思えます。教員のほうは評価についてはもうかなり慣れているところがあるので、教員のほうはもうそういったアレルギー的なのはないのかなというふうには思っております。

安間教育長 できるようになった子に対して「よくできるようになったね」と言ってあげるのが当たり前だと思うのですよ。それが評価なのだ。その部分の考え方を実践の場で取得できるような努力をしてください。もとより評定なんか考えていませんからね。できる話ではありませんし。ぜひ学校も努力していただければと思います。

もう1点、事務局にお伺いしたいのですが、今後のGIGAスクール構想の実現のときに道徳の使い方というのがものすごい難しいのですが、いつもこの読み物で文章を読んでというよりも、その事案を考えればいいのだから読み物ではなくたっていい。音声教材とか映像教材を活用することもできる。事務局としては今後のGIGAスクール構想の実現、さらに効果的な道徳の教科書というのはどんな特徴があると思われていますか。

木村指導課指導主事 教科書に掲載されているQRコードにアクセスすると、教材に関連する写真や動画、資料などのリンクが利用できます。授業では、はじめに関連する動画などを視聴することで、当該の背景についての理解や、また内容項目に迫りやすくする、そういった活用が想定されます。そうした道徳科の授業を効果的に進めるのに役立つコンテンツが用意されている教科書がよいと考えています。

安間教育長 分かりました。

伊東委員 御説明ありがとうございました。

そもそも特別な教科道徳というふうになった背景には、いじめ問題への対応とかそういった子どもたちに、子どもたち自身でこの問題を解決できる力を大切にすることが非常にあるということから、特別な教科というふうに掲げられているわけなのですが、そのことから考えると、例えば、議論することとか、それから考える

こととか、というような部分がある教科書というのはどういう教科書なのかということですね。見た限り、どちらかというとなら従来の読み物教材で、主人公などの心情を読み取るような道徳の授業という形になっている、そういうような展開を促している教科書が多いような気がするのですが、そういったその問題解決的な手法を取り入れるとか体験的な学習の手法を取り入れる、そういった教科書というのは、実際はあるのかどうなのか。先生方の御意見を聞かせていただければと思います。

内野教科別調査部会（道徳）部長　今の伊東先生のおっしゃったように、いじめに関してというところで、今回、道徳の評価化というのが進んだところの1つかなというふうに思います。どの教科書も、いじめについて、命について、展開して取り扱っております。教科書によっては、ユニット化ということで、ある期間に集中的に学べるようになってきているような工夫もされています。

読み物資料がまだまだ中心ではないかというお話ですが、やはり、読み物教材の良さというのもあります。それ以外には、漫画であったり、複数の資料を扱うようなそういった工夫をしている会社があります。

それから、話し合いの仕方、議論の仕方、考え方、そういったものをどの教科書も最初のほうに示してあったり、あるいは、中のほうにこういった話し合いの仕方もありますというような紹介をしているというところでございます。各社工夫をしているところでありますが、読み物資料を使ったからといって議論する道徳ができないとかそういうことではございませんので、またその資料を使いながら、教材を使いながら教員のほうで「主体的、対話的で深い学び」を進められるように指導のほうの工夫をしていく必要があるかなというふうに思います。

以上です。

伊東委員　はい、結構です。

安間教育長　他に御質疑ございますか。

川島委員　御説明ありがとうございます。

先ほど来、いじめに関してのというところで道徳が始まったというような話、確かに道徳で、1つの命の大切さですとか、思いやりですとか、寛容さとか、というところを育てていただきたいなという思いはあるのですが、やはり自分のこととして、あるいは自分の周りのこととして実際考えるというのがすごく大切だと思うの

ですよね。そういうところ、そういう手段に対しての工夫が特徴的なものがあるのであれば教えていただきたいと思うのですけれども。

内野教科別調査部会（道徳）部長 教科書そのものの中にはそういった形のものが明確には出てないかなと思うのですが、学習指導要領の中などに、例えば、今までは「あなたはどう思いますか」、「あなただったらどうしますか」みたいなことを聞くのはタブーだということがあったのですけれども、「あなただったらどうしますか」とか自分事として考えられるような発問がタブー視されなくなってきているということはあろうかと思います。

川島委員 ありがとうございます。

安間教育長 他にございましょうか。

柴田委員 先ほど御説明の中でも少し触れられていたかと思うのですが、現場の先生が使用しやすい教科書ということで、教材研究が進められているものもいいということだったのですが、教材研究を進めていく中で特に道徳の観点から行いやすい、先生方が使いやすい、勧めたいというものはどういうものなのでしょうか。

内野教科別調査部会（道徳）部長 教員によってやはり、その好みのもの、あるいは使ったことがあるような教材というのが、やはり親しみを持って授業しやすいのかなと思います。ただ、新しいものにも挑戦していただかないことにはというところがあります。教員にとっては今まで使ったことがあるようなもの、それが使いやすいものということになるかと思いますが、だんだん時代に合わなくなっていく部分もございしますので色々試してもらわないといけないかなというふうに思います。

以上です。

安間教育長 他にございませんか。

笠原委員 先ほど御説明いただいたときに、道徳の授業が暗いものにならにようにというお話があったのですけれども、例えば生徒さんが、読むときにショックを受けてしまうということはあるのでしょうか。

内野教科別調査部会（道徳）部長 すごいショックを受けましたということは特別には聞いてないのですが、ただ、いい内容ではあるのですが同じような内容のものばかりで、例えば障害者のテーマを扱うことは大事なのですけれども、障害者を扱

うことばかりたくさん載っているようであると、やはり気持ちのバランスがよくなっていくのかなというふうには感じております。

伊東委員 道徳の授業で副教材を使われる学校があるのかどうなのか。それから、国や都のほうから副教材的なものというのは、いまだに配付されているものなのか、その辺りを教えていただけますでしょうか。

内野教科別調査部会（道徳）部長 東京都からは、「心をつめて」、これはまだ配付されています。実際に使われているかということ、なかなか教科書で手いっぱいみたいところがあります。それから、文部科学省からの「私たちの道徳」というのは配付されなくなってしまいました、残念ながらというふうなことでございます。

上野統括指導主事 道徳も教科化されましたので、教科書の指導というのが中心になるところでございますが、各学校に応じて、その資料というか、そういう資料を必要とされる場面もございます。

安間教育長 よろしゅうございましょうか。

最後に1つ、どの会社と言わなくて結構なのですが、この中で差別に関する資料が充実しているものがあったら教えてください。今、コロナに感染したことによってその人、その家族、その地域が苦しい思いをしたりとか、もしくは、公園で2メートル以上離れて遊んでいたのだけどマスクをしていなかったから怒られちゃったとか、そういうような事例がいっぱい出てきたりする教科書はありましたか。次代を担う子どもたちにはそんな差別、偏見をもつように育ててもらいたくない。私は、だからこそ道徳の時間は教科化されたのだらうなと思います。みなさまは、これ全部御覧になられたのですけどこうした指導に適した資料というのはありましたか。何点ぐらいありましたと言ってくれば私が探しますけど。

内野教科別調査部会（道徳）部長 内容項目で言いますと、この中で言いますと例えば卒業文集、最後の2行などは、いじめのことではあるのですけれども、これ、きちんと子どもたちの心に訴えれば、いじめなんか起こらないだらうなというぐらいいい資料かなというふうには感じています。

安間教育長 分かりました。ありがとうございます。

それでは、御質疑よろしゅうございますね。

それでは、道徳についての協議はこれで終了させていただきます。

これで、令和3年度の八王子市立中学校・義務教育学校使用教科用図書の採択についての協議、本日予定されていたものは全て終了いたしました。

この冒頭に委員の皆様にはお諮りいたしましたけれども、次回、8月12日の教育委員会定例会までゆっくり考えていただいて、各教育委員の皆様から最終的な意見を述べていただく。そして、各委員さんが推したい発行社の投票を行ってほしいというふうに思います。調査委員会の先生方はみんな学校の先生ですので、何度も呼び出すわけにはいかないので、この間に協議を受けてさらに質問したい事項がございましたら事務局まで御連絡をください。その日に間に合うように、事務局を通じてその質問に対する回答は進めていきたいというふうに思います。また、12日の会の冒頭ではどんな質問があってどんな回答が調査部会からあったという御報告を事務局からさせていただきたいと思います。

長時間ありがとうございました。以上で、本定例会の議事日程は全て終了いたしました。

これをもちまして本定例会は終了いたします。ありがとうございました。

【午後4時4分閉会】